

# トヨタ純正

## フレグランス

### 取付要領書

このたびは、トヨタ純正フレグランスをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書はフレグランスの取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けをしてください。

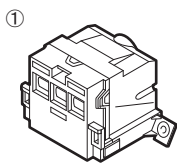
#### 品番

フレグランスユニット	085B0-00010
フィッティングキット	085B0-00020

**トヨタ自動車株式会社**

## 構成部品

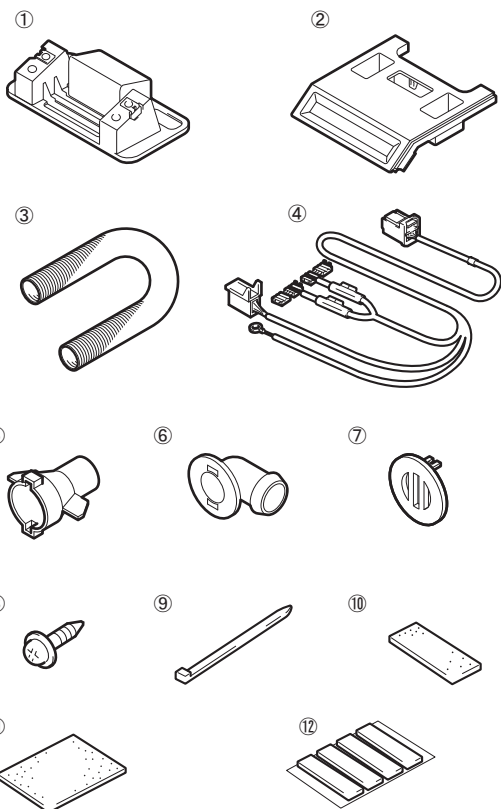
### フレグランスユニット



KP00188

No.	品名	個数
①	フレグランスユニット	1

### フィッティングキット

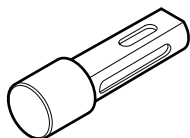


KP00001

No.	品名	個数
①	台座	1
②	化粧パネル	1
③	ホース	1
④	ワイヤーハーネス	1
⑤	ホースアタッチメント (ストレート)	1
⑥	ホースアタッチメント (L字)	1
⑦	ベゼル	1
⑧	スクリュー (φ5×16mm)	2
⑨	バンドクランプ	40
⑩	クッションテープ (50mm×20mm)	1
⑪	クッションテープ (100mm×70mm)	1
⑫	両面テープ (4枚セット)	1

## 別売り部品

### カートリッジ



KP00189

品名	品番
VIVID CITRUS	085B4-00020
TREE SOUND	085B4-00030
ROSY MEMORY	085B4-00040

## 取り付けに必要な工具

一般工具、メジャー、ハサミ、電動ドリル、ドリル刃 (φ3)、ホールソー (φ20)、ケガキ針、保護テープ、ヤスリ、保護マット、保護メガネ、ビニールテープ、脱脂剤等【イソプロピルアルコール (IPA) 純度 100% 推奨】

## 取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

**警告** … 危険以外で取り扱いを誤った（または守らなかった）場合、死亡または重大な障害を生じる可能性があるものに対するの注意内容を伝達する。

**注意** … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりするなどの恐れがあります。

**注意** … 注意事項を守らないと車両および用品が損傷するなどの恐れがあります。

**アドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実にしてください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対にしないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないように配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには十分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後は必ず初期化作業をしてください。
- (5) 貼り付け面に油脂分や汚れが付いていると脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り、脱脂してください。
- (6) 脱脂剤等を使用する場合は、火気に十分注意してください。

### 取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす

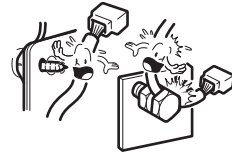


### 部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



### 配線は

- コネクタは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



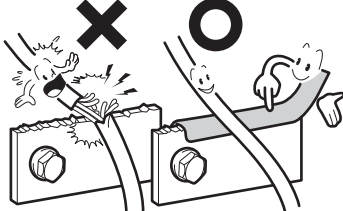
- コネクタは確実に接続する



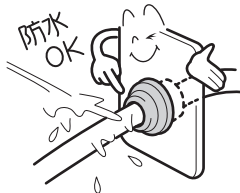
- 無理に引っ張らない



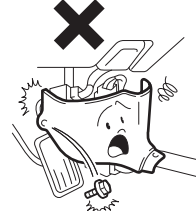
- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする

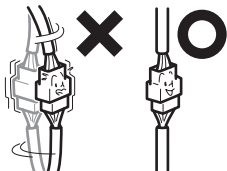


- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



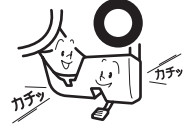
### クランプは

- クランプは締めすぎない
- 余った部分をカットする
- カットした端末が他のハーネスと接触しないようにする
- コネクタを異音がないようにクランプする
- カットした端末が鋭利にならないようにカットする(ケガ防止)



### 取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



## 注意

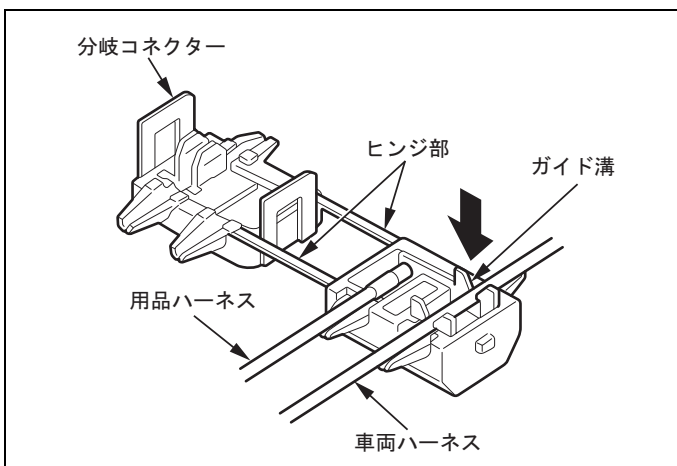
バッテリー接続中に作業をする場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう十分注意してください。

## 分岐コネクタの接続方法

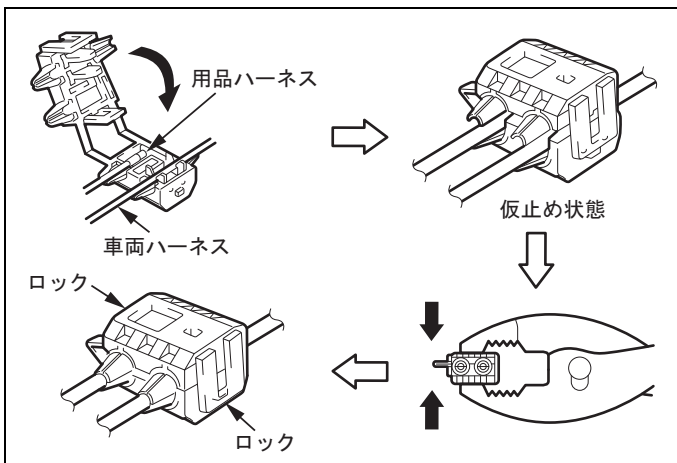
### 分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないように十分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合したことを確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう十分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理をしてください。

### 分岐コネクタの接続手順

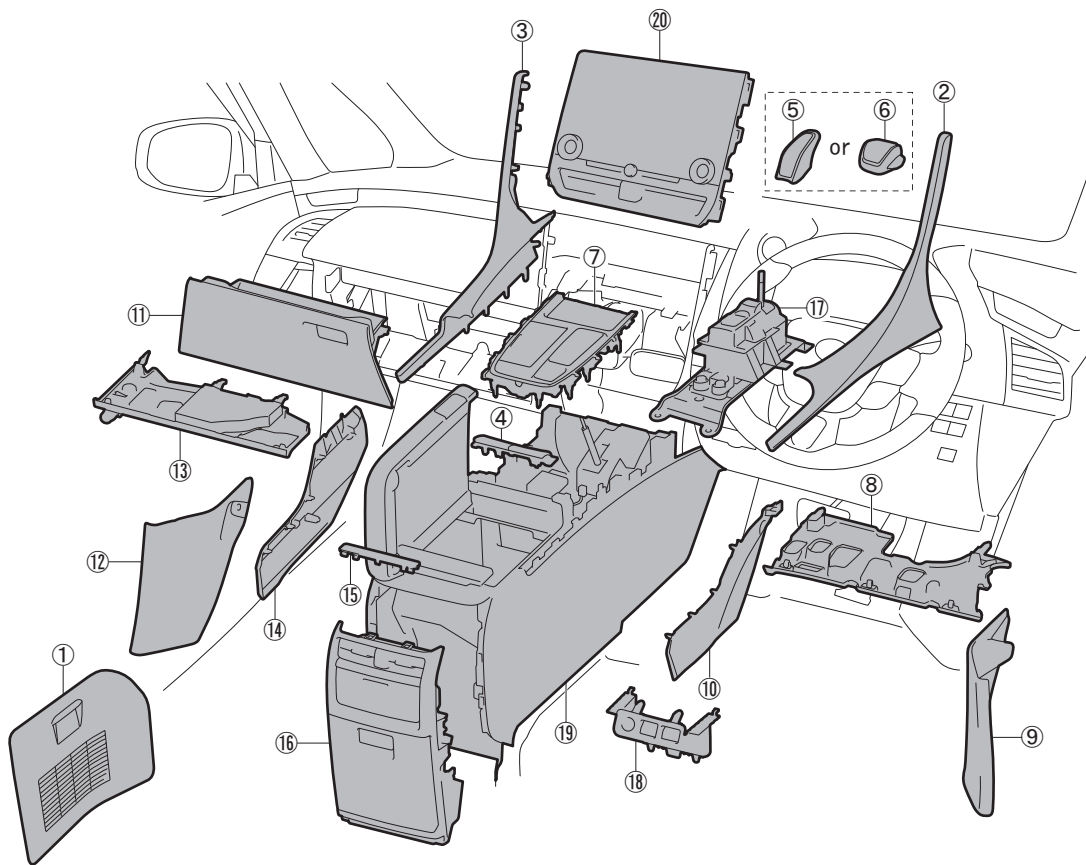


- (1) 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- (2) 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。



- (3) 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- (4) 分岐コネクタの異音防止の為、ビニールテープを巻いて処理してください。

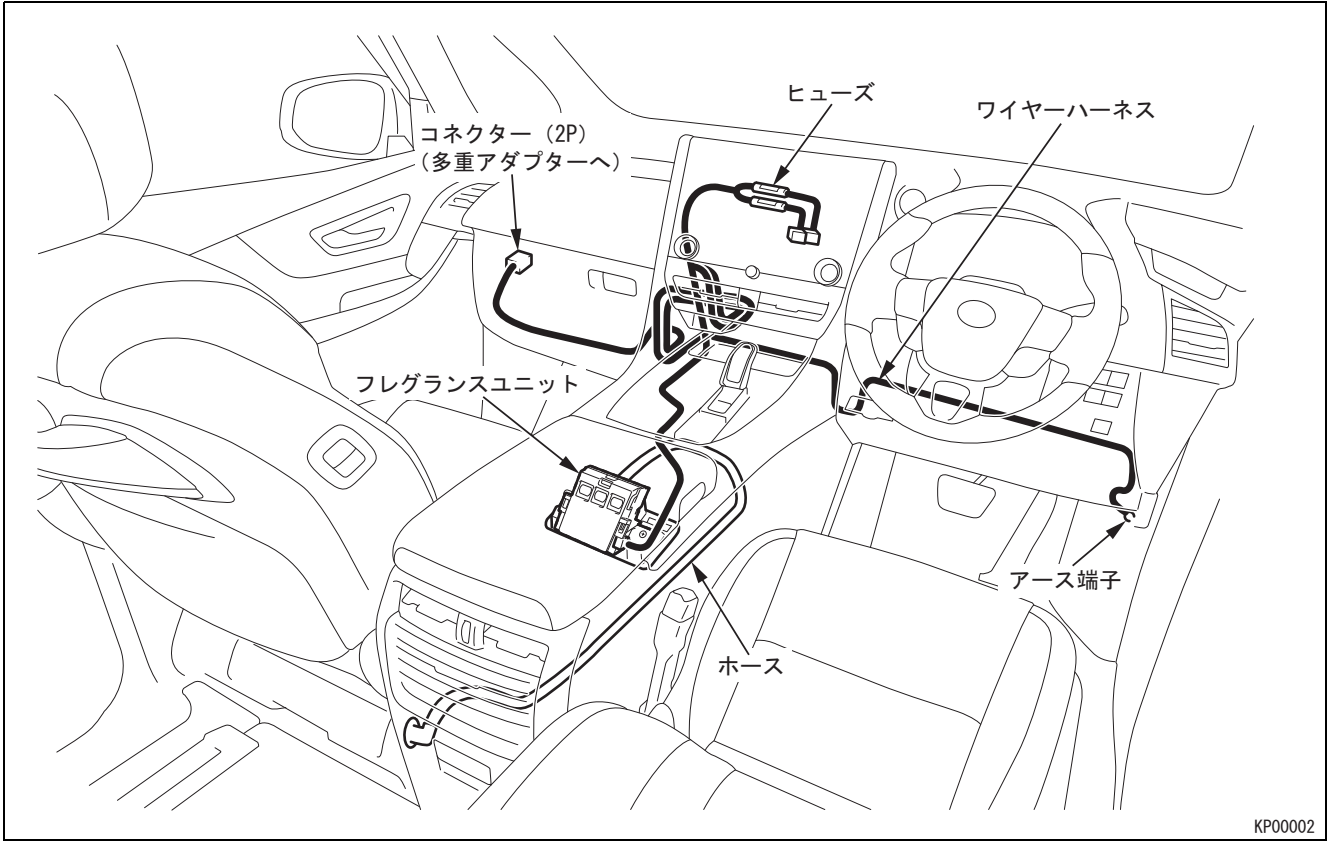
# 車両部品の取りはずし概要



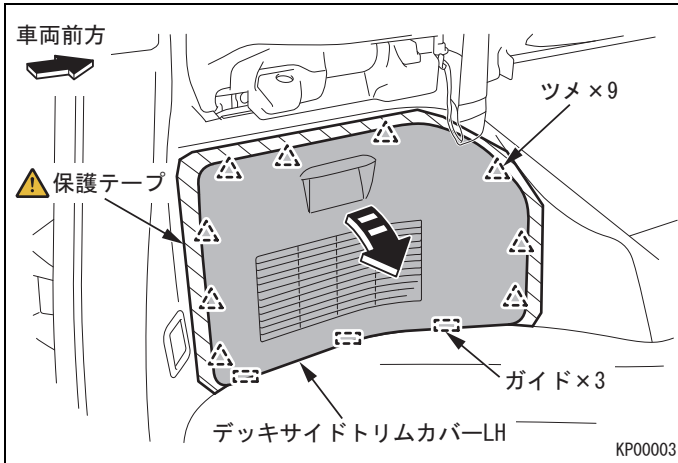
No.	車両取りはずし部品名称	No.	車両取りはずし部品名称
①	デッキサイドトリムカバー-LH (ハイブリッド車のみ)	⑪	グローブコンパートメントドアASSY
②	インストルメントパネルパッドSUB-ASSY LWR NO. 1	⑫	カウルサイドトリムボードLH
③	インストルメントパネルパッドSUB-ASSY LWR NO. 2	⑬	インストルメントパネルアンダカバー-SUB-ASSY NO. 2
④	コンソールパネルSUB-ASSY UPR RR	⑭	コンソールボックスインサートFR NO. 2
⑤	シフトレバーノブ (電子式タイプのみ)	⑮	コンソールボックスカバーFR
⑥	シフトレバーノブ (機械式タイプのみ)	⑯	コンソールリヤエンドパネルSUB-ASSY
⑦	コンソールパネルSUB-ASSY UPR FR	⑰	シフトレバーASSY W/ブラケット (電子式タイプのみ)
⑧	インストルメントパネルアンダカバー-SUB-ASSY NO. 1	⑱	イクイップメントセットパネルカバー
⑨	カウルサイドトリムボードRH	⑲	コンソールボックスASSY
⑩	コンソールボックスインサートFR NO. 1	⑳	ラジオ&ディスプレイレシーバASSY W/ブラケット

KP00097

# 配線概要



## 取り付け要領



### ・バッテリーの（－）端子取りはずし

#### ■ ハイブリッド車の場合

- (1) デッキサイドトリムカバー LH (ツメ 9 箇所、ガイド 3 箇所) をはずす。

#### 注意

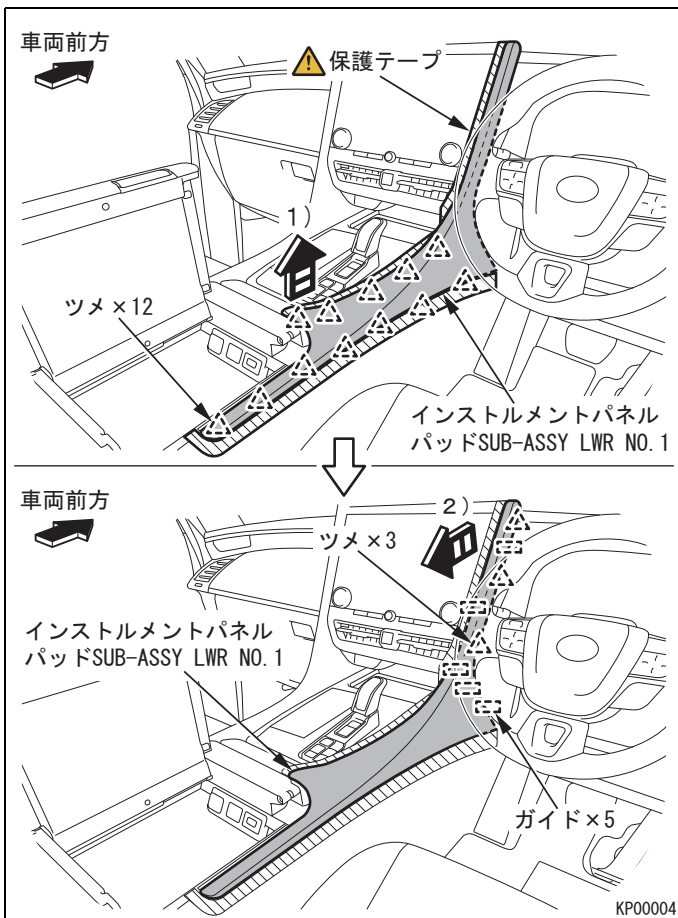
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)

#### ■ 共通

- (2) バッテリーの（－）端子を取りはずす。

#### 警告

バッテリーの（－）端子をはずさずに作業をして、ショートした場合、傷害、火災および車両や製品の故障、破損の原因につながるおそれがあります。



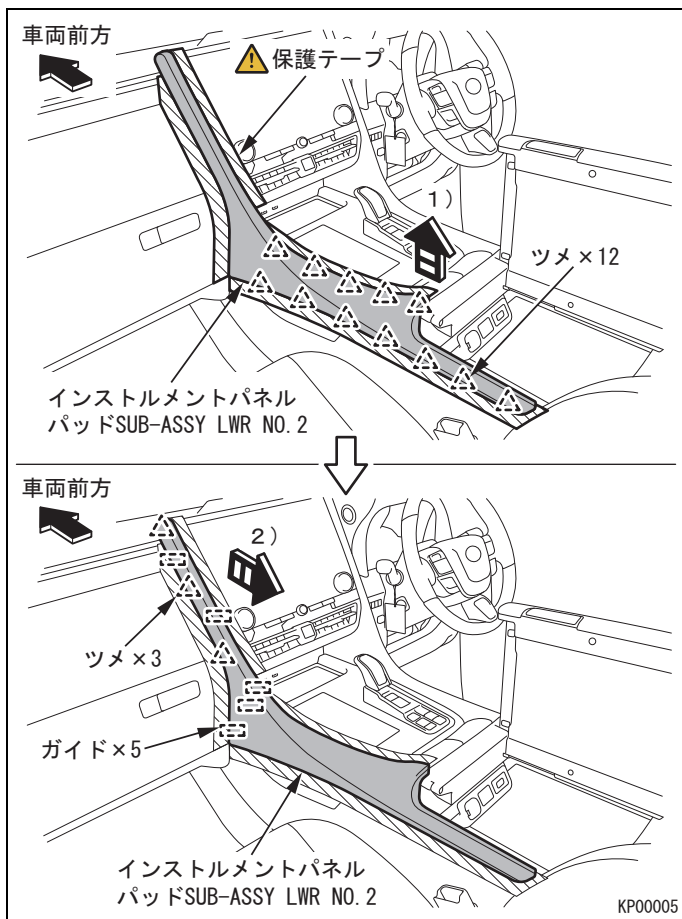
### ・車両部品の取りはずし

- (1) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 1 を取りはずす。

- 1) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 1 を矢印の方向に引いてツメ (12 箇所) のかん合をはずす。
- 2) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 1 を矢印の方向に引いてツメ (3 箇所) およびガイド (5 箇所) を取りはずす。

#### 注意

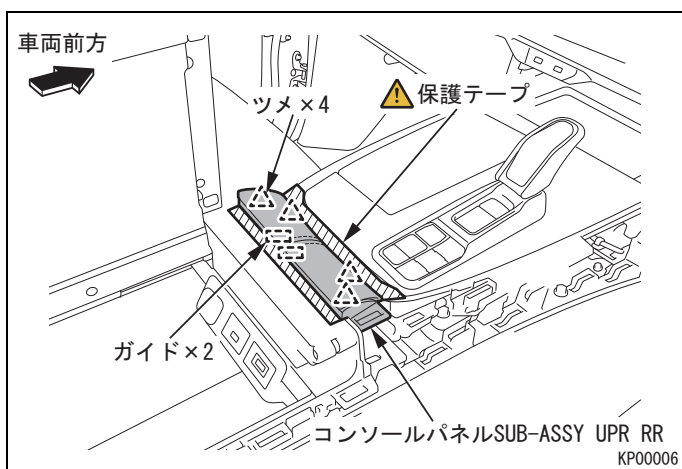
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



- (2) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 2 を取りはずす。
- 1) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 2 を矢印の方向に引いてツメ (12箇所) のかん合をはずす。
  - 2) インストルメントパネルパッド SUB-ASSY LWR NO. 2 を矢印の方向に引いてツメ (3箇所) およびガイド (5箇所) を取りはずす。

### 注意

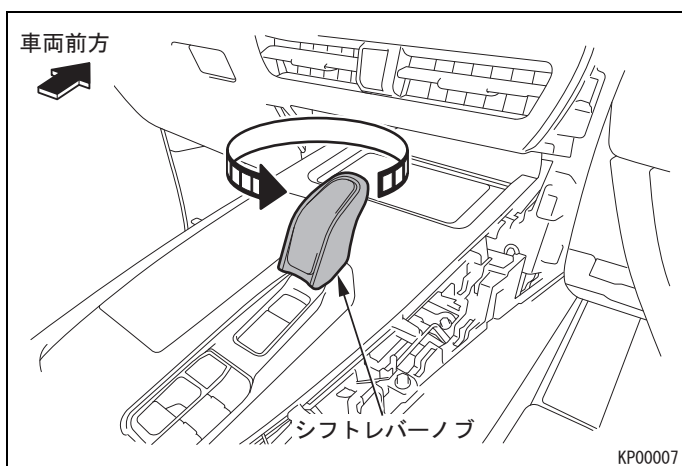
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



- (3) コンソールパネル SUB-ASSY UPR RR (ツメ 4箇所、ガイド 2箇所) を取りはずす。

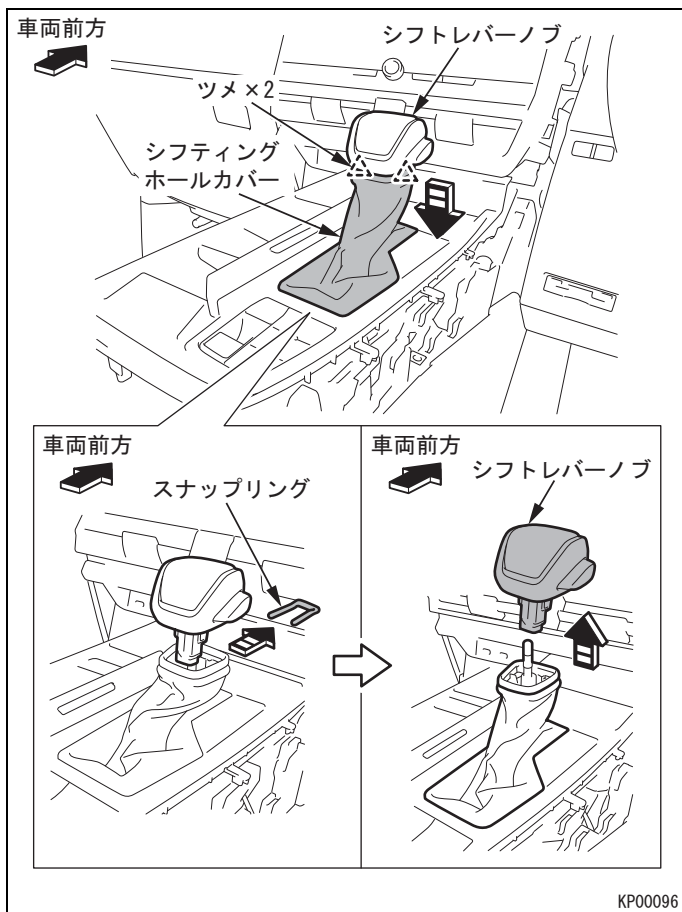
### 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



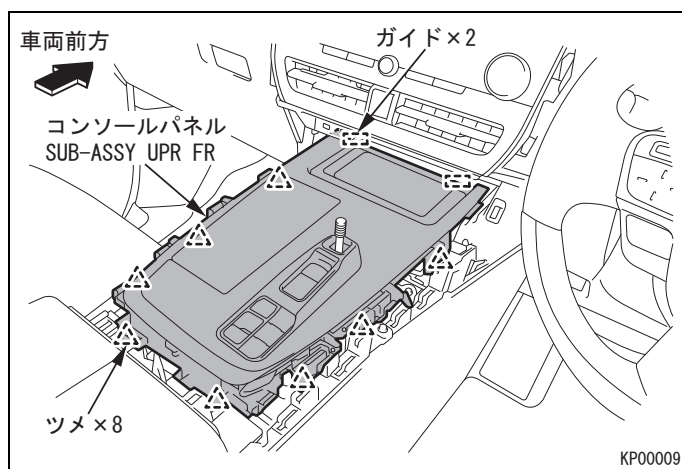
### ■ 電子式タイプの場合

- (4) 矢印の方向にシフトレバーノブを回転させて取りはずす。



### ■ 機械式タイプの場合

- (5) シフティングホールカバー（ツメ 2 箇所）を矢印の方向に下げる。
- (6) スナップリングを引き抜き、シフトレバーノブを取りはずす。

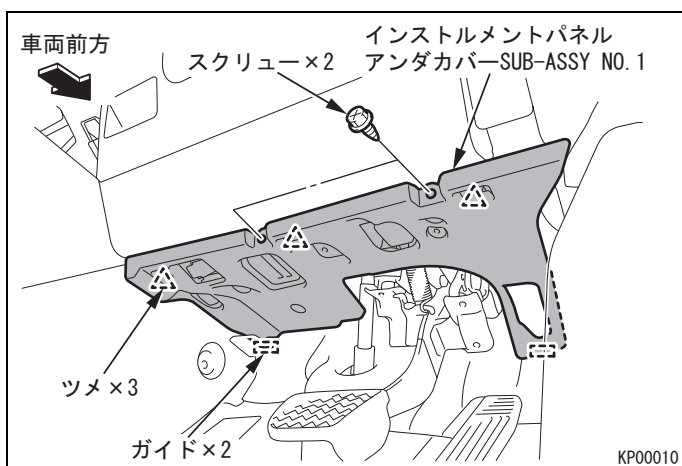


### ■ 共通

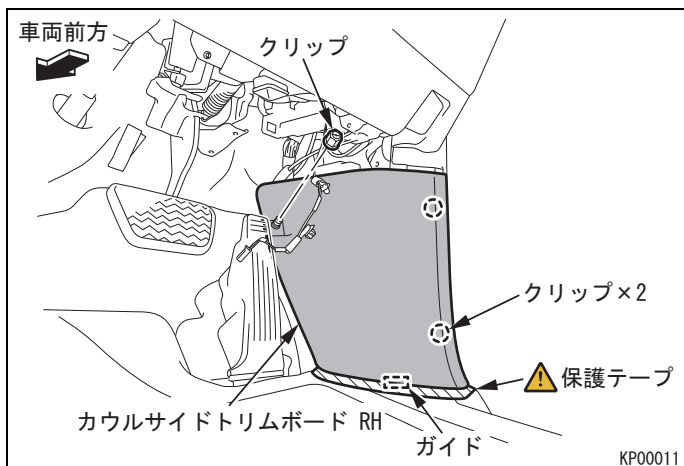
- (7) コンソールパネル SUB-ASSY UPR FR（ツメ 8 箇所、ガイド 2 箇所）を取りはずす。

### アドバイス

左図は電子式タイプを示しますが、機械式タイプも同様に作業してください。



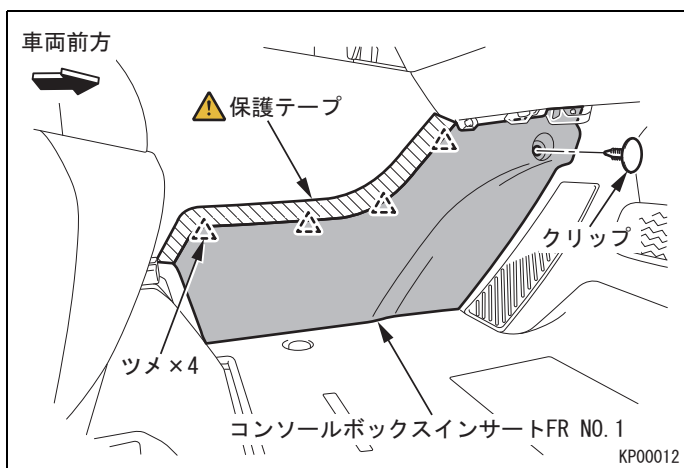
- (8) インストルメントパネルアンダカバー SUB-ASSY NO.1（スクリュー 2 個、ツメ 3 箇所、ガイド 2 箇所）を取りはずす。



(9) カウルサイドトリムボードRH (クリップ3箇所、ガイド1箇所) を取りはずす。

### 注意

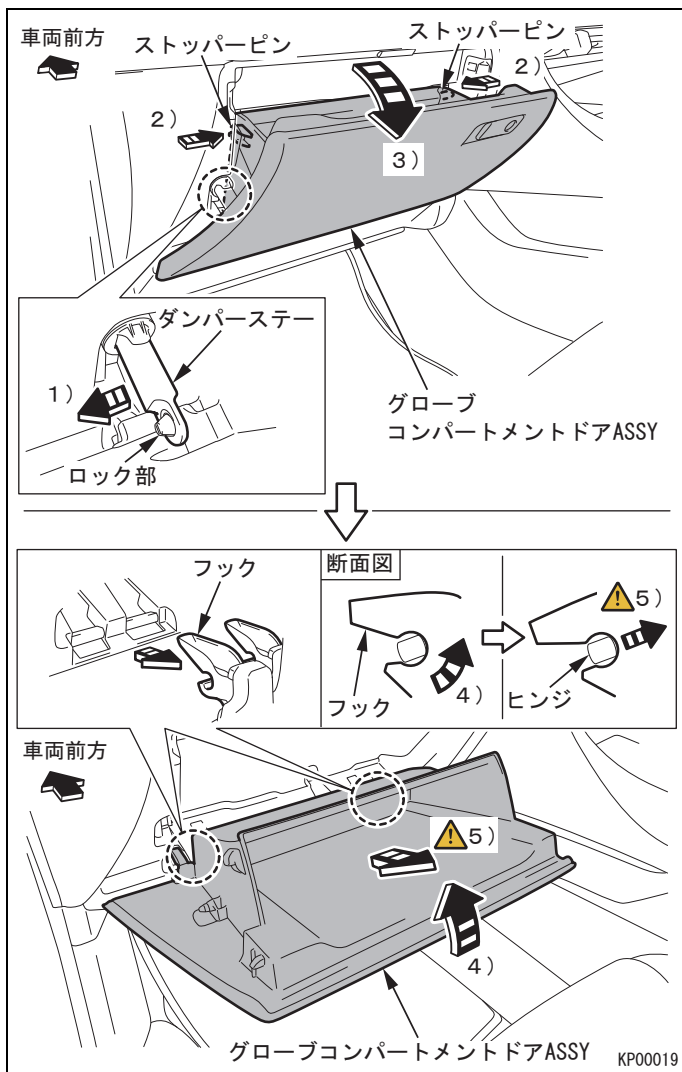
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



(10) コンソールボックスインサートFR NO.1 (クリップ1箇所、ツメ4箇所) を取りはずす。

### 注意

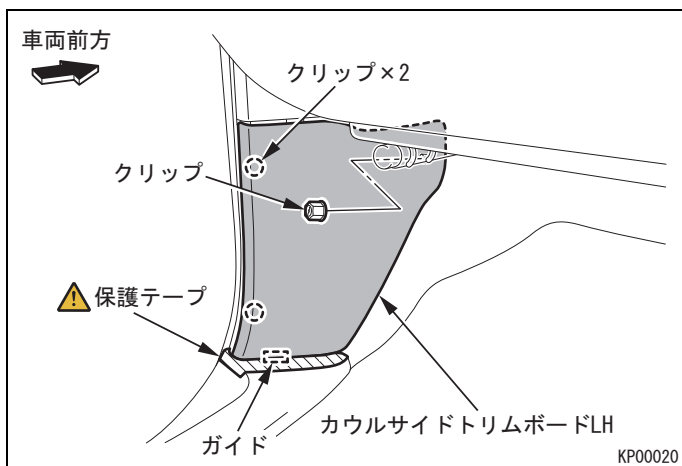
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



- (11) グローブコンパートメントドア ASSY を取りはずす。
- 1) ダンパーステーをロック部から取りはずす。
  - 2) グローブボックスの両側を押し、ストッパーピン（左右2箇所）の引っ掛かりをはずす。
  - 3) グローブボックスをインパネに当たるまで、手で支えながらゆっくりと下側に倒す。
  - 4) グローブボックスを少し持ち上げる。
  - 5) ヒンジと平行にした状態で引いてフック（左右2箇所）をはずす。

### 注意

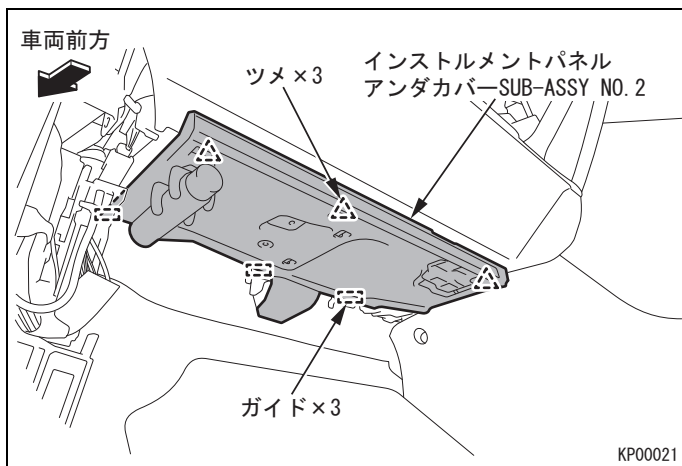
グローブコンパートメントドア ASSY を上方向へ引っ張って取りはずすと、ヒンジにガタが出るおそれがあるため、必ずヒンジと平行にした状態で引いて取りはずしてください。



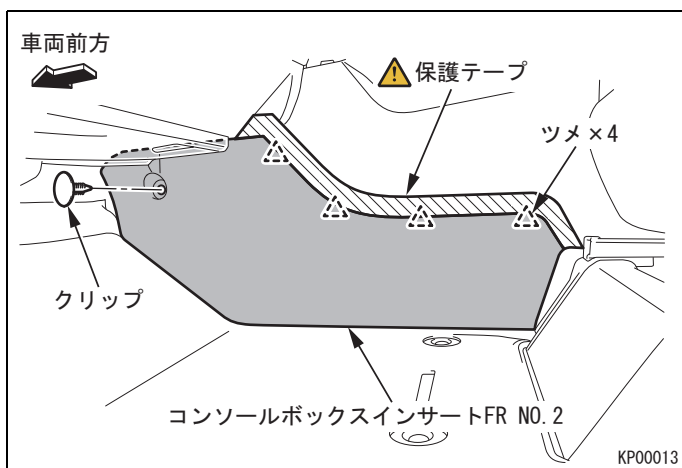
- (12) カウルサイドトリムボード LH（クリップ3箇所、ガイド1箇所）を取りはずす。

### 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。（車両に傷が付くおそれがあります。）



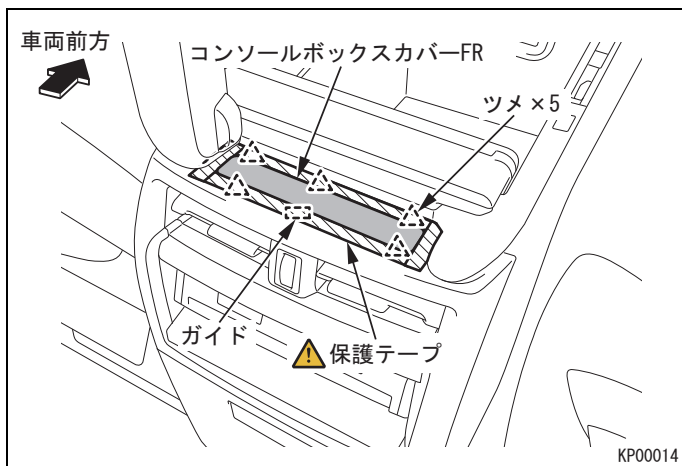
- (13) インストルメントパネルアンダカバー SUB-ASSY NO. 2 (ツメ 3 箇所、ガイド 3 箇所) を取りはずす。



- (14) コンソールボックスインサート FR NO. 2 (クリップ 1 箇所、ツメ 4 箇所) を取りはずす。

### 注意

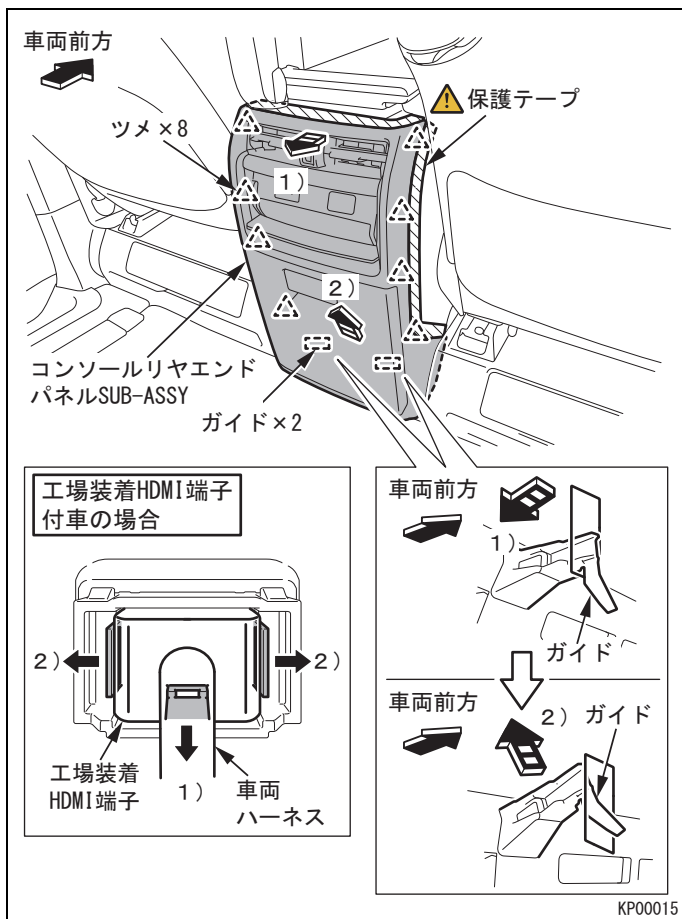
車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



- (15) コンソールボックスカバー FR (ツメ 5 箇所、ガイド 1 箇所) を取りはずす。

### 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)



- (16) コンソールリヤエンドパネル SUB-ASSY を取りはずす。
- 1) コンソールリヤエンドパネル SUB-ASSY を矢印の方向に引き、ツメ (8箇所) のかん合をはずす。
  - 2) コンソールリヤエンドパネル SUB-ASSY を矢印の方向に引き、ガイドのかん合をはずす。

### 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置に保護テープを貼ってください。  
(車両に傷が付くおそれがあります。)

### ■ 工場装着 HDMI 端子付車の場合

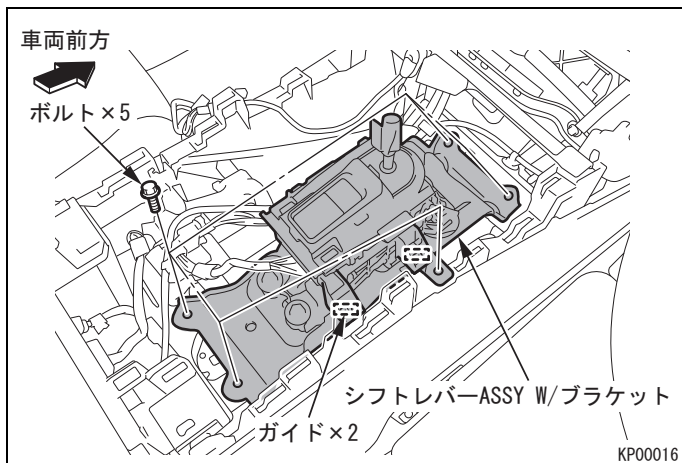
- (17) コンソールリヤパネル裏側から工場装着 HDMI 端子を取りはずす。
- 1) 下側のツメ (1箇所) のかん合をはずす。
  - 2) 左右のツメ (2箇所) のかん合をはずす。

### 注意

車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業をしてください。

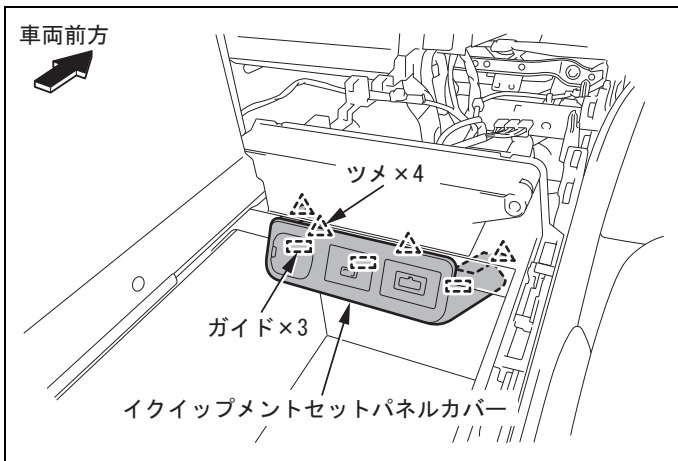
### アドバイス

左図の手順に従い (ー) ドライバーを使用してツメのかん合をはずしてください。

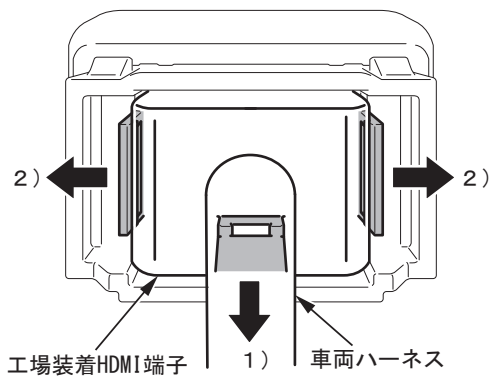


### ■ 電子式タイプの場合

- (18) シフトレバー ASSY W/ ブラケット (ボルト 5個、ガイド 2箇所) を取りはずす。



工場装着HDMI端子付車の場合



■ 共通

(19) イクイップメントセットパネルカバー (ツメ 4箇所、ガイド3箇所) を取りはずす。

■ 工場装着 HDMI 端子付車の場合

(20) コンソールリヤパネル裏側から工場装着 HDMI 端子を取りはずす。

1) 下側のツメ (1箇所) のかん合をはずす。

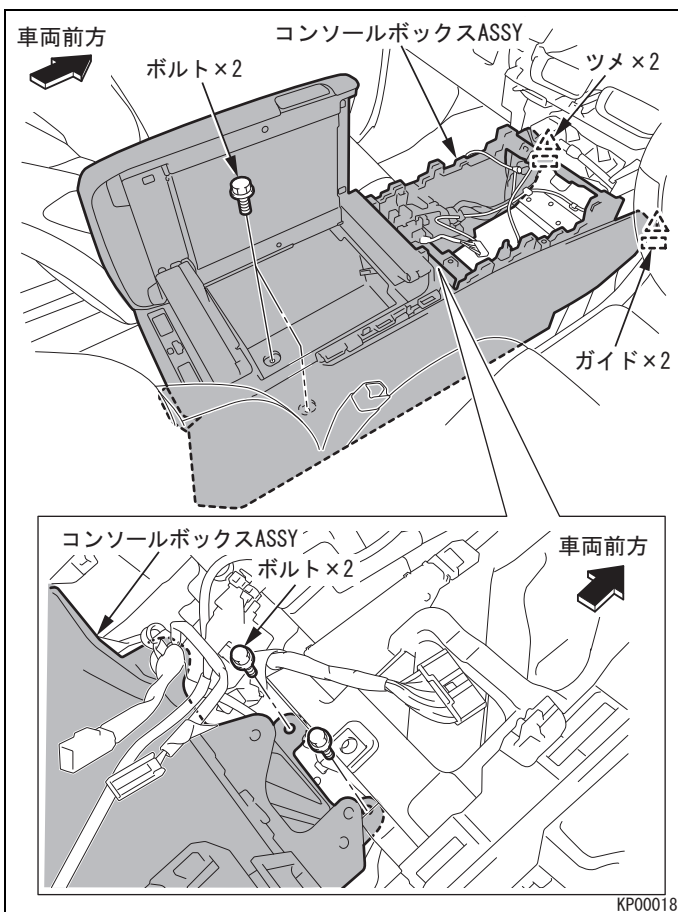
2) 左右のツメ (2箇所) のかん合をはずす。

注意

車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業をしてください。

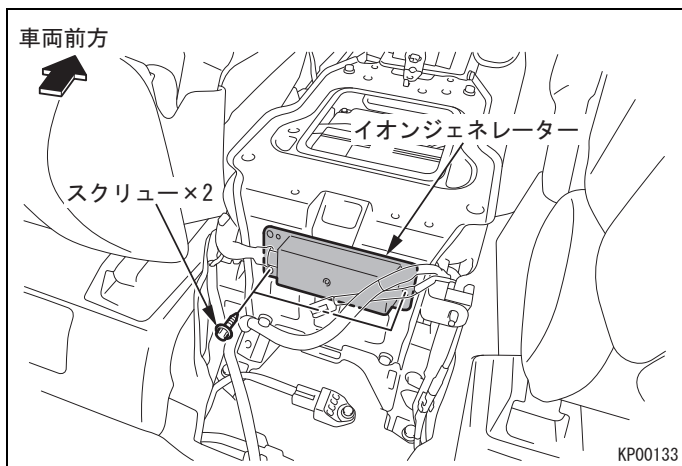
アドバイス

左図の手順に従い (-) ドライバーを使用してツメのかん合をはずしてください。



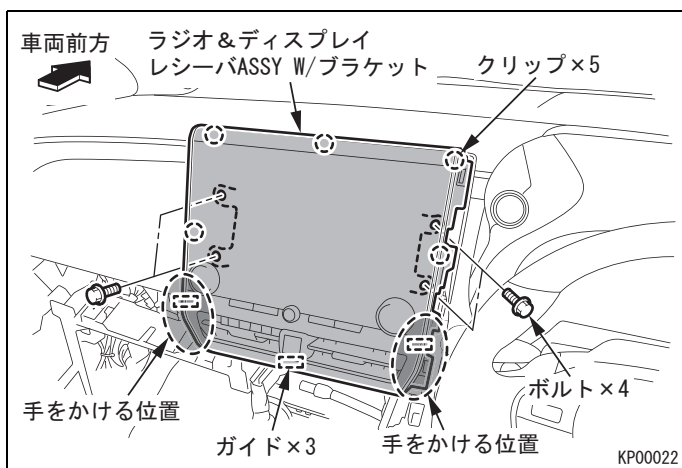
■ 共通

(21) コンソールボックス ASSY (ボルト 4個、ツメ 2箇所、ガイド 2箇所) を取りはずす。



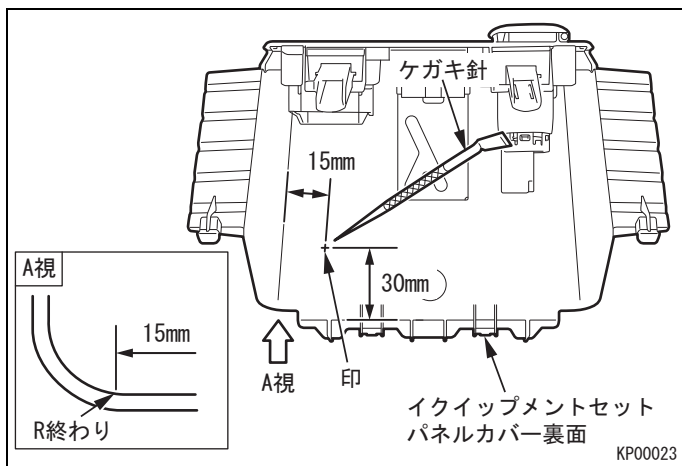
■ イオンジェネレーター付車の場合

- (22) イオンジェネレーター（スクリー2個）を取りはずす。



■ 共通

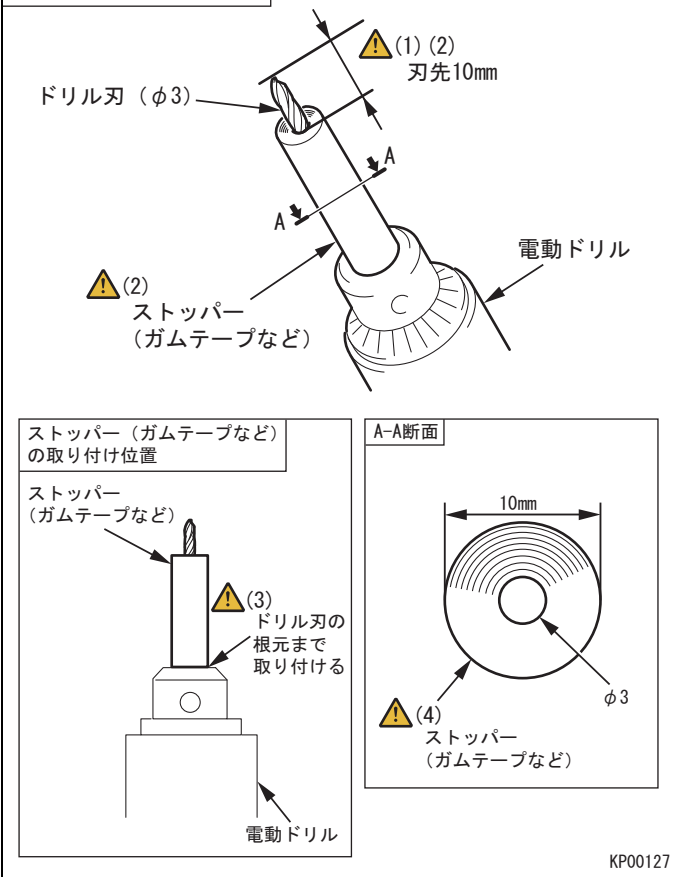
- (23) ラジオ&ディスプレイレシーバASSY W/ ブラケットのボルト4個を取りはずす。  
 (24) 左図の位置に手をかけ、ラジオ&ディスプレイレシーバASSY W/ ブラケット（クリップ5箇所、ツメ3箇所）を取りはずす。



・イクイップメントセットパネルカバーの加工

- (1) イクイップメントセットパネルカバー裏面の左図の位置にケガキ針で下穴をあけるための印を付ける。

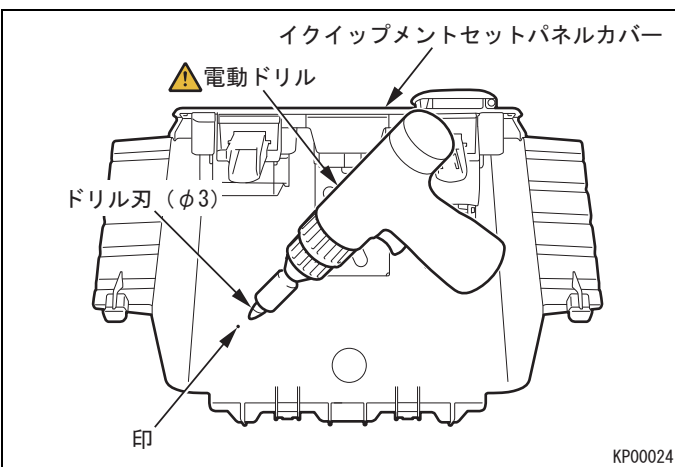
刃先寸法を確認して作業



(2) ドリル刃 (φ3) を電動ドリルに取り付ける。

注意

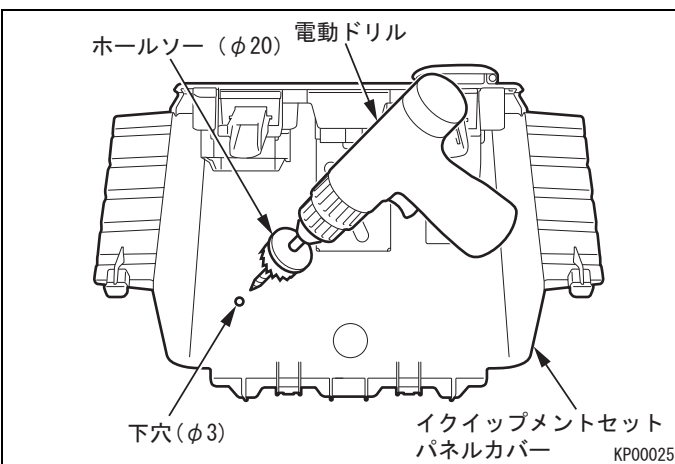
- (1) ドリルで穴あけをする前に、ドリルの刃先が 10mm になるように、ストップパ (ゴムテープなど) を取り付けてください。  
(ストップパを取り付けずに、穴あけをすると、車両を傷付けるおそれがあります。)
- (2) ドリルで穴あけをする前に、ドリルの刃が 10mm 以上にならないことを確認してください。  
[何度も使用している場合、ストップパ (ゴムテープなど) がたわみ、刃先寸法が長くなり車両を傷付けるおそれがあります。]
- (3) ストップパ (ゴムテープなど) を取り付ける際、ドリル刃の根元まで取り付けてください。  
(根元まで取り付けなかった場合、車両を傷付けるおそれがあります。)
- (4) ストップパ (ゴムテープなど) の直径が 10mm になるように取り付けてください。  
(直径が 10mm 以下の場合、車両を傷付けるおそれがあります。)



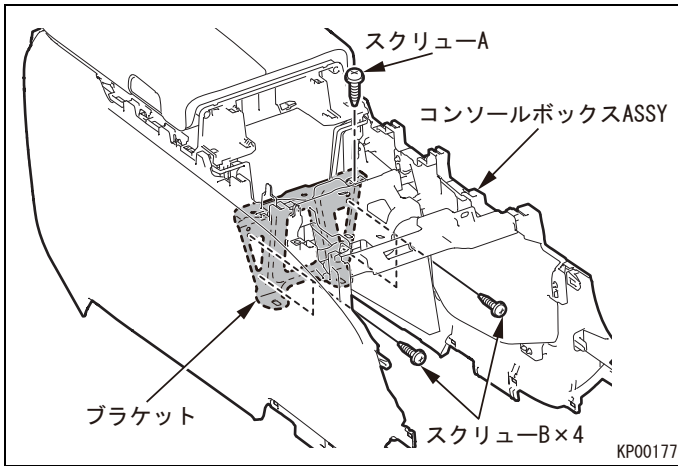
(3) イクイップメントセットパネルカバー裏面の印に φ3 のドリル刃で穴をあける。

注意

- ・穴あけ作業をする際、保護めがねを着用してください。  
(保護めがねを着用しないで作業をすると、切り粉が目に入るおそれがあります。)
- ・以降の作業も同様にしてください。

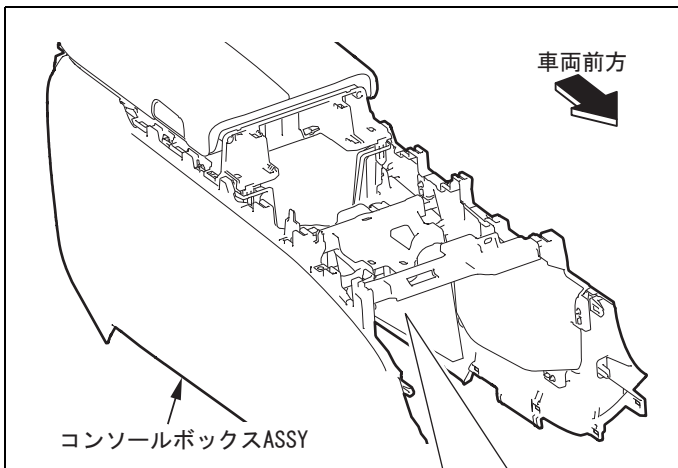


(4) イクイップメントセットパネルカバー裏面の φ3 の下穴に φ20 のホールソーで穴をあける。



### ・コンソールボックス ASSY の加工

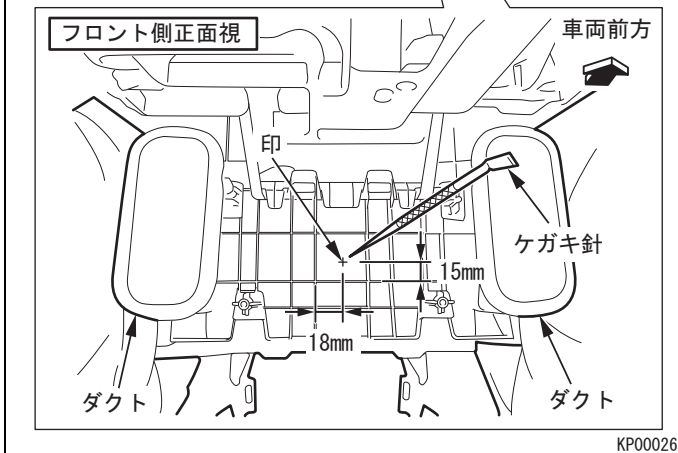
- (1) ブラケット (スクリュー 5 個) をコンソールボックス ASSY から取りはずす。



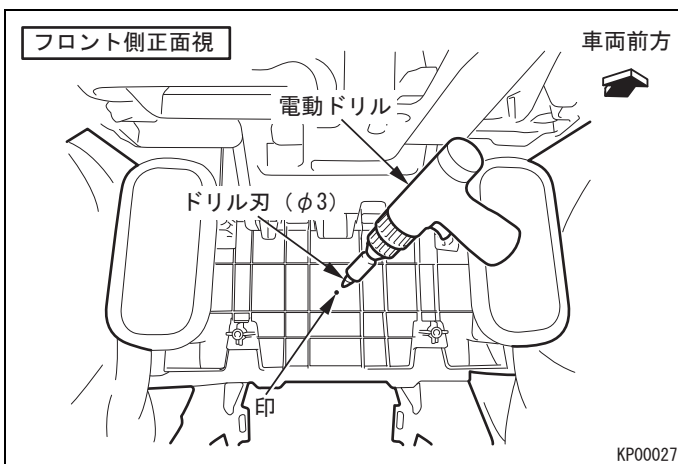
- (2) コンソールボックス ASSY の左図の位置にケガキ針で下穴をあけるための印を付ける。

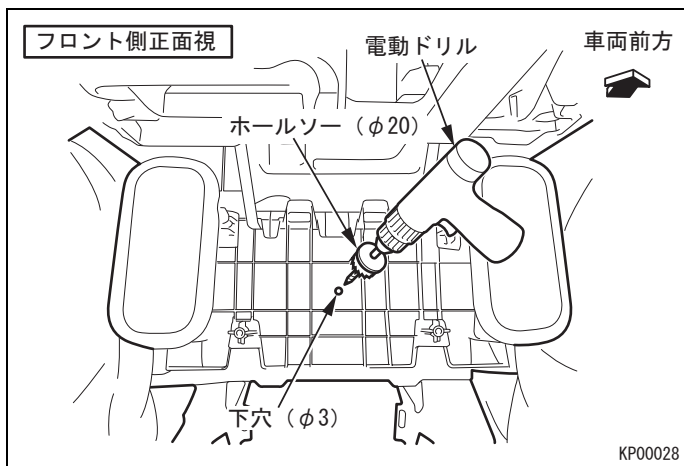
#### アドバイス

図はダクト付車を示しますが、ダクトなし車も同様に作業をしてください。  
以降の作業もダクト付車を示します。



- (3) コンソールボックス ASSY 前面の印に  $\phi 3$  のドリル刃で下穴をあける。

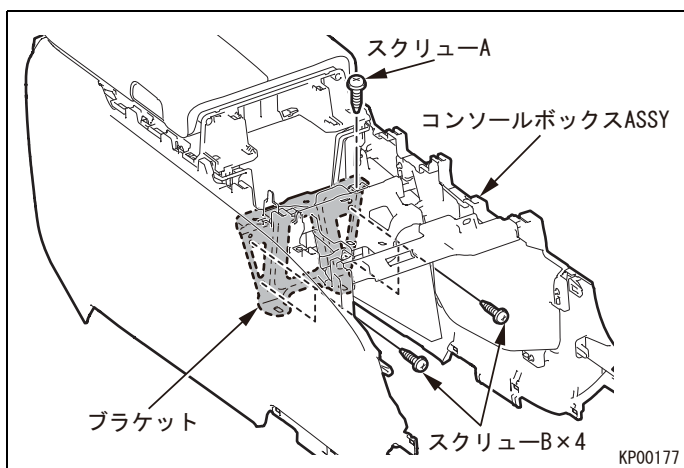




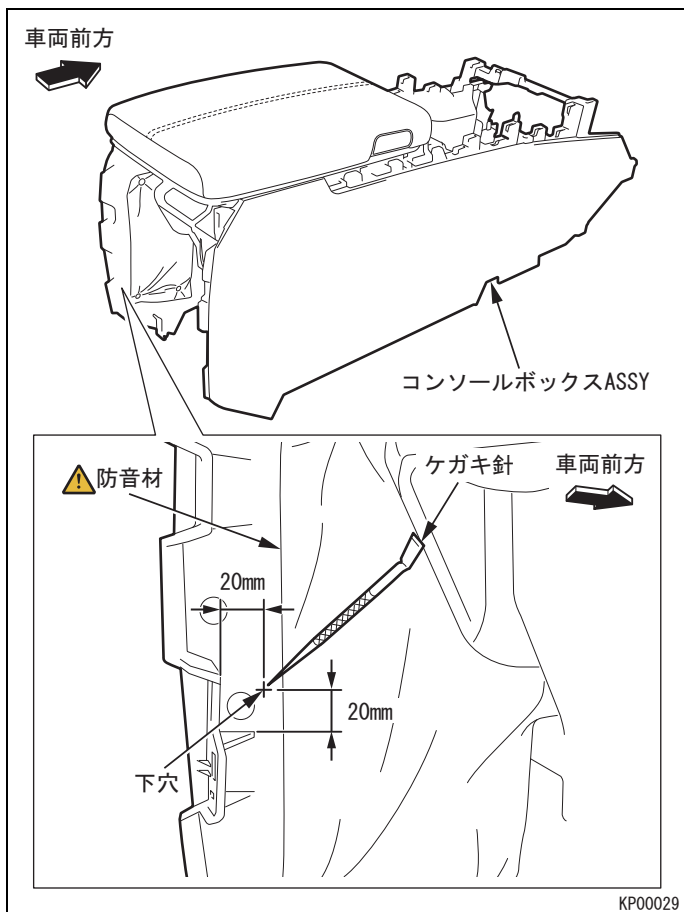
- (4) コンソールボックス ASSY 前面の φ3 の下穴に φ20 のホールソーで穴をあける。

アドバイス

コンソールボックス内に入った切粉は取り除いてください。



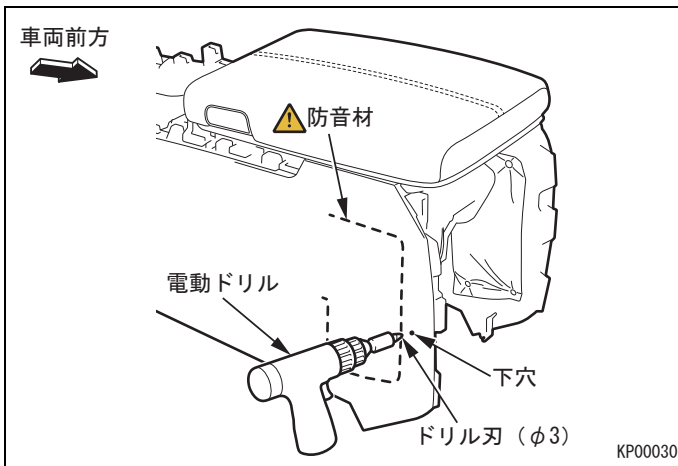
- (5) ブラケットを復元する。



- (6) コンソールボックス ASSY 左側面の左図の位置にケガキ針で下穴をあける。

注意

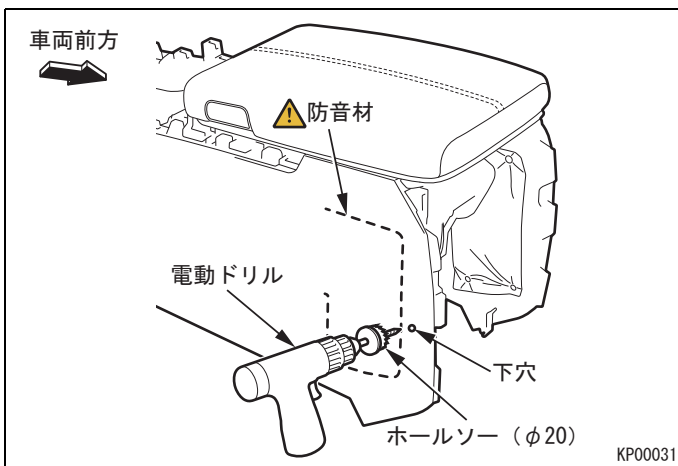
防音材がある場合、防音材に干渉しないように防音材をめくって作業してください。  
(防音材が破れるおそれがあります。)



(7) コンソールボックス ASSY 左側面の下穴をφ3のドリル刃で広げる。

### 注意

穴あけ位置に裏側に防音材がある場合、防音材に干渉しないように防音材をめくって作業してください。  
(防音材が破れるおそれがあります。)



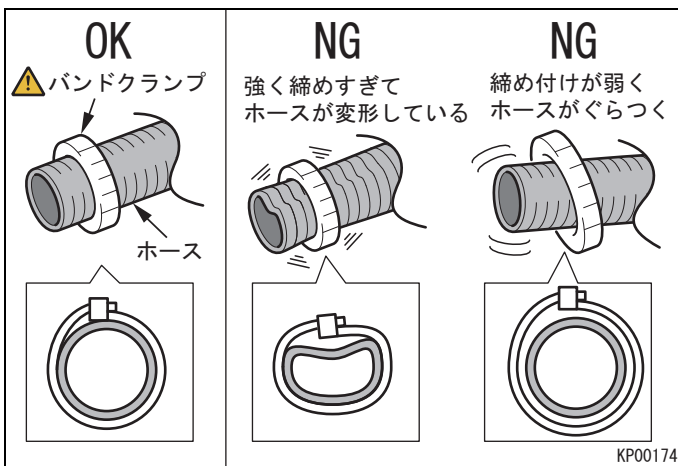
(8) コンソールボックス ASSY 左側面のφ3の下穴にホールソー(φ20)で穴をあける。

### 注意

穴あけ位置に裏側に防音材がある場合、防音材に干渉しないように防音材をめくって作業してください。  
(防音材が破れるおそれがあります。)

### アドバイス

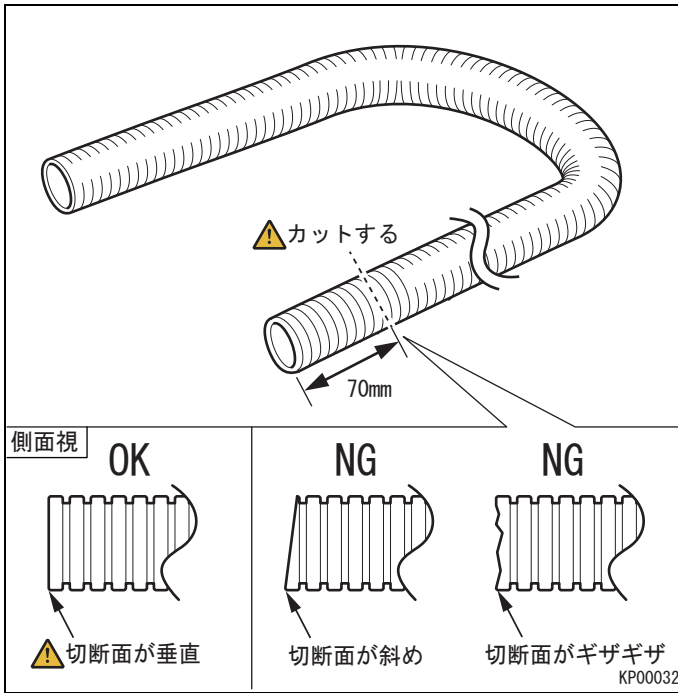
穴に付いたバリはヤスリで取り除いてください。



### ・ホースの取り付け

### 注意

- ・バンドクランプを締め付ける際は、適度な力で締め付けをしてください。
- ・バンドクランプを強く締めすぎると、ホースが変形するおそれがあります。
- ・バンドクランプの締め付けが弱いと、ホースのぐらつきの原因になります。

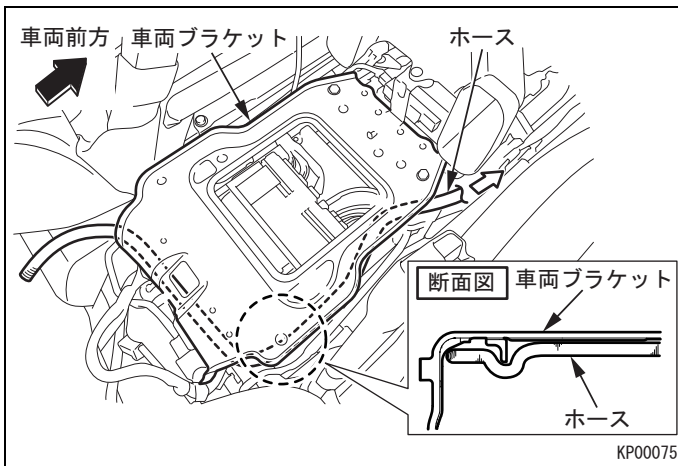


## ■ 除く、イオンジェネレーター付車の場合

(9) ホースを先端から 70mm カットする。

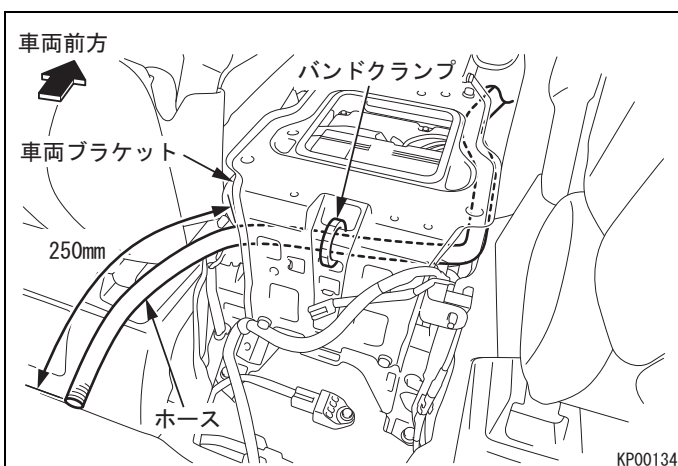
### 注意

- ・ ホースをカットする際は、±5mm 以内の誤差でカットしてください。  
(誤差が ±5mm 以上の場合、本製品が取り付けられなくなるおそれがあります。)
- ・ カットの際は、ホースに対し垂直にカットしてください。  
(垂直にカットしなかった場合、ホースアタッチメントに接続できなくなるおそれがあります。)



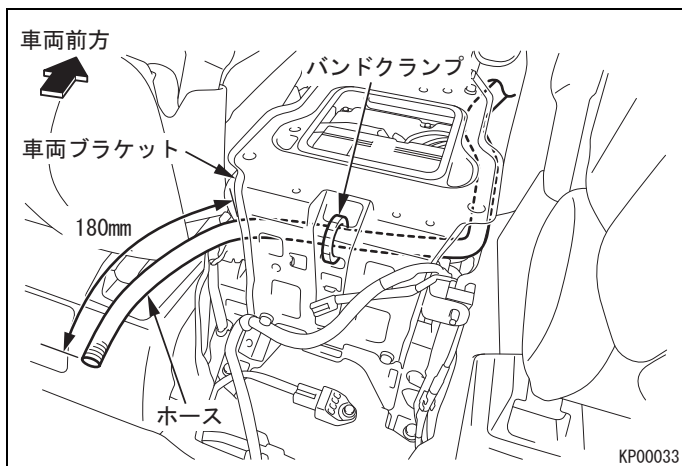
## ■ 共通

(10) ホースを左図のように車両ブラケットの下側に取り廻す。

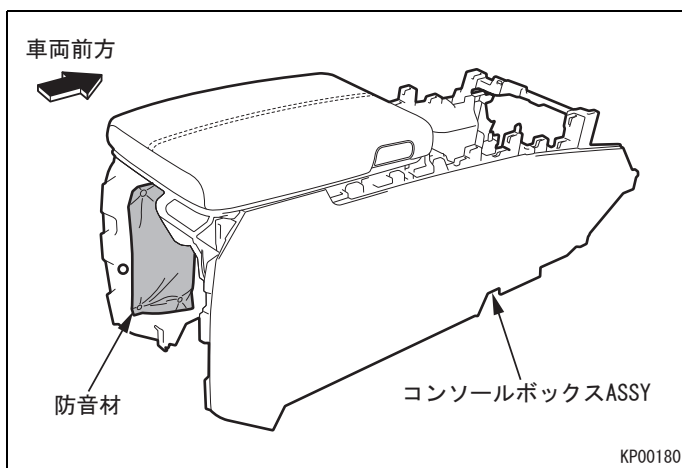


## ■ イオンジェネレーター付車の場合

(11) ホース先端を車両ブラケットから 250mm 出した状態で、ホースを車両ブラケットにバンドクランプ 1 本で固定する。



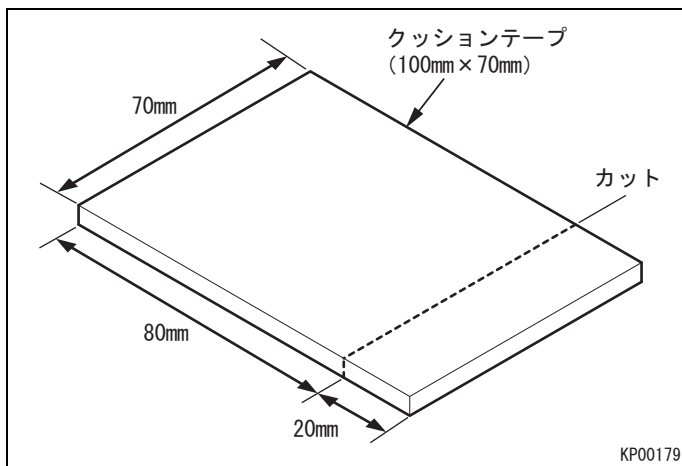
- 除く、イオンジェネレーター付車の場合  
 (12) ホース先端を車両ブラケットから180mm出した状態で、ホースを車両ブラケットにバンドクランプ1本で固定する。



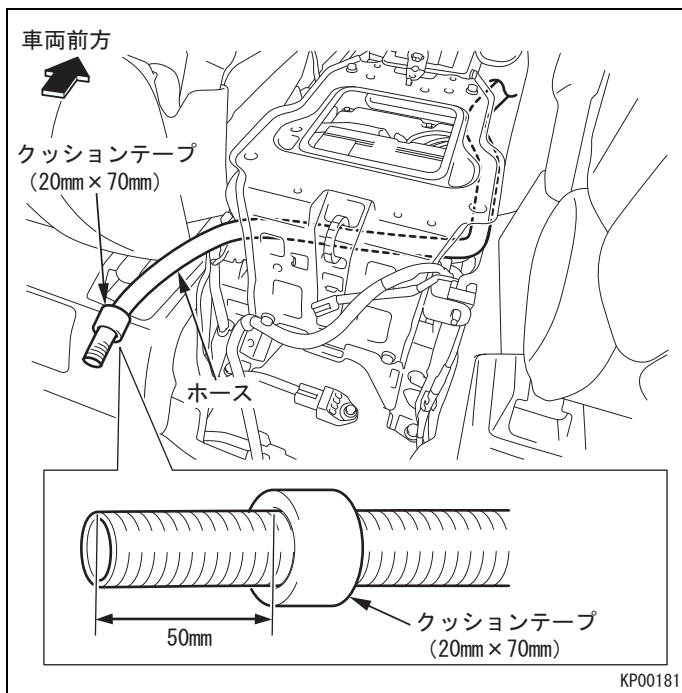
- 共通  
 (13) コンソールボックス ASSY の図の位置に防音材が取り付けられているか確認する。

アドバイス

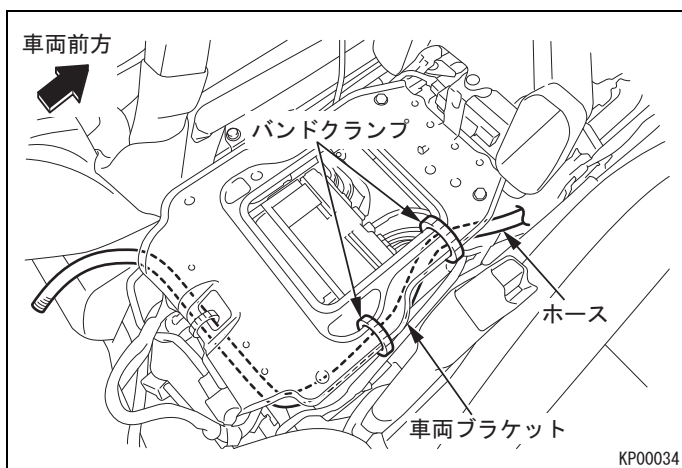
防音材が取り付けられている場合、クッションテープ (100mm×70mm) の加工とホースに加工したクッションテープの巻き付け作業が不要となります。



- 除く、コンソールボックス ASSY 防音材付車の場合  
 (14) 図のようにクッションテープ (100mm×70mm) をカットする。

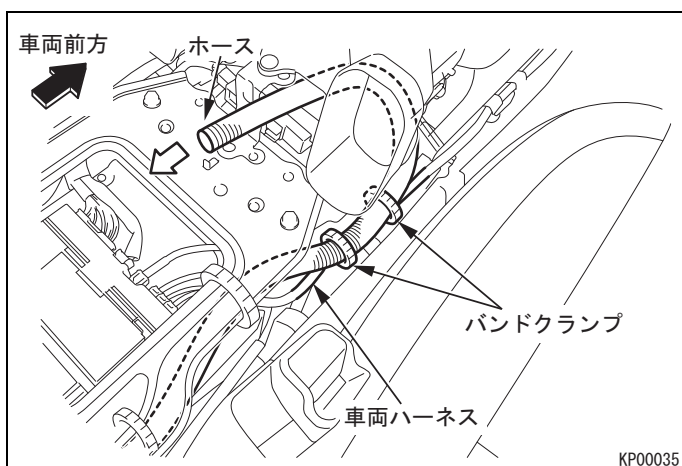


- (15) クッションテープ (20mm×70mm) をホースの先端から 50mm の位置に巻き付ける。

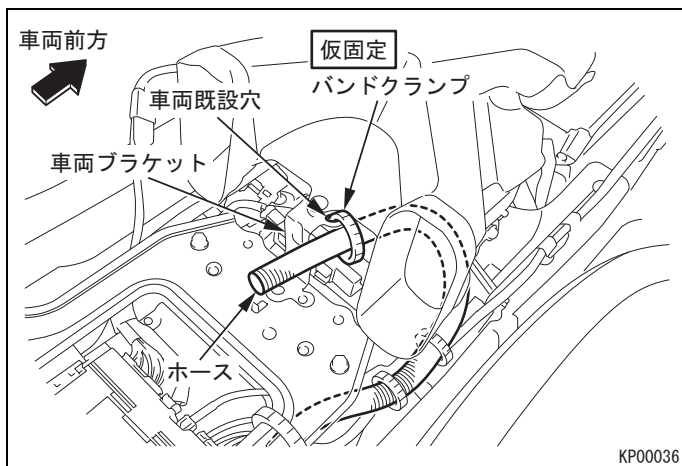


■ 共通


- (16) ホースを車両ブラケットにバンドクランプ 2 本で固定する。



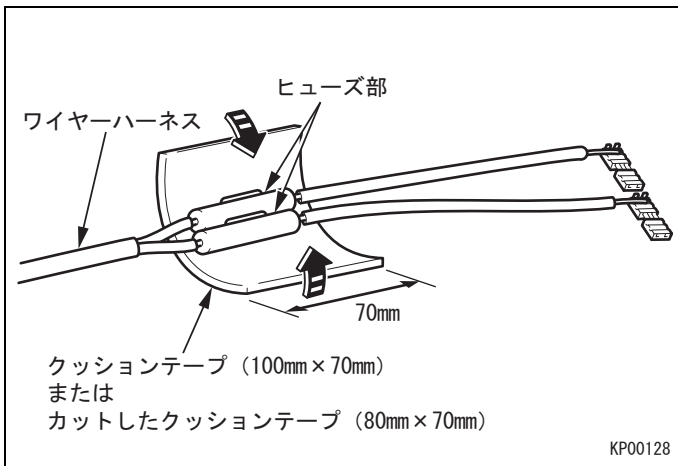
- (17) ホースを左図のように取り廻し、車両ハーネスにバンドクランプ 2 本で固定する。



(18) ホースを車両ブラケットの既設穴にバンドクランプ1本で仮固定する。

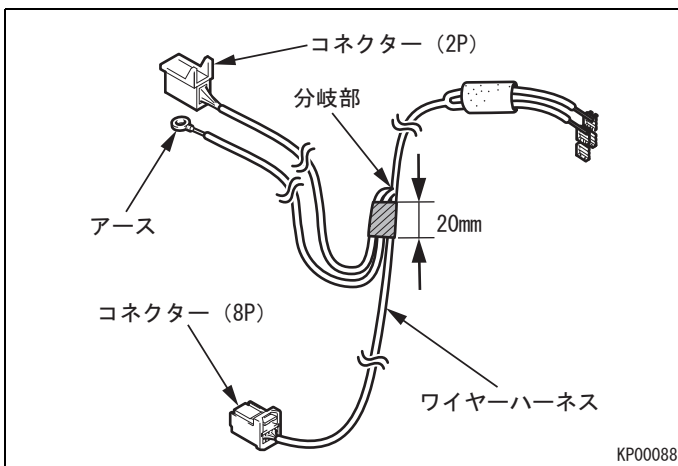
 アドバイス

後工程でホースの長さを調整するため、ホースをずらせられるように緩く締め付けてください。

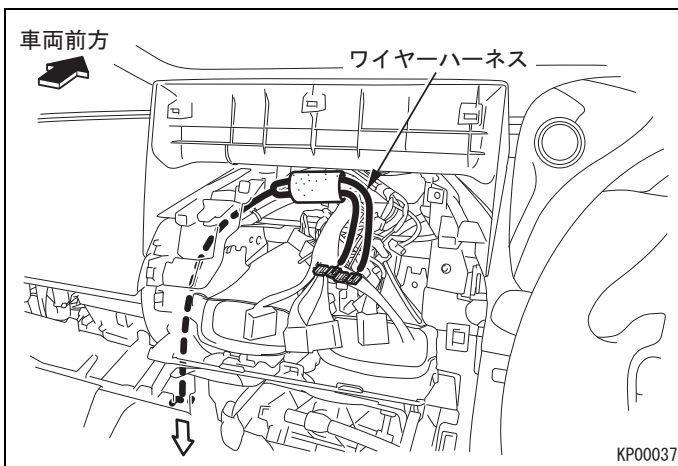


## ・ワイヤーハーネスの配線

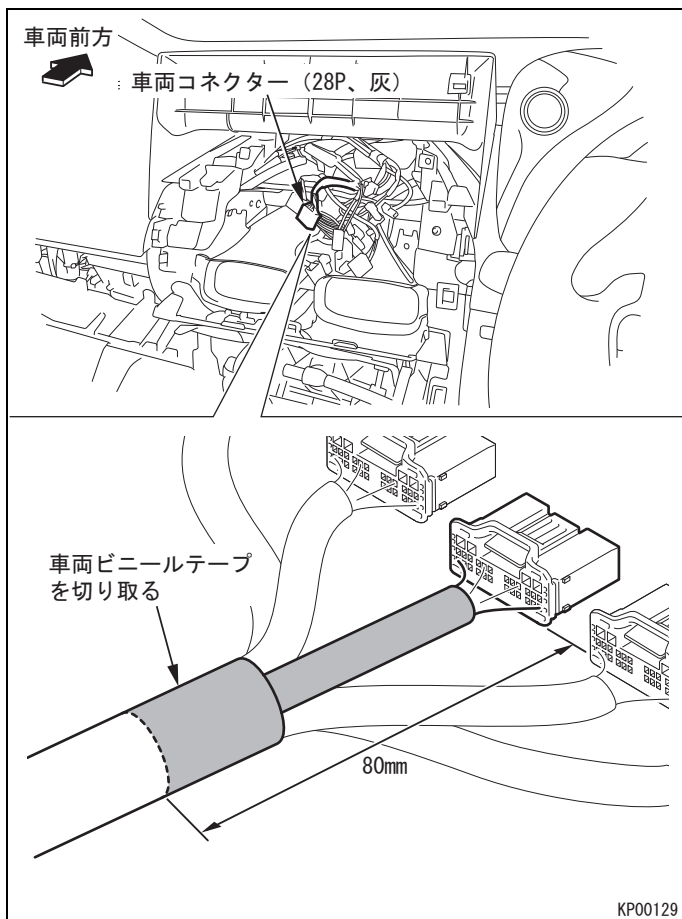
- (1) ワイヤーハーネスのヒューズ部にクッションテープ (100mm×70mm) またはカットしたクッションテープ (80mm×70mm) を巻く。



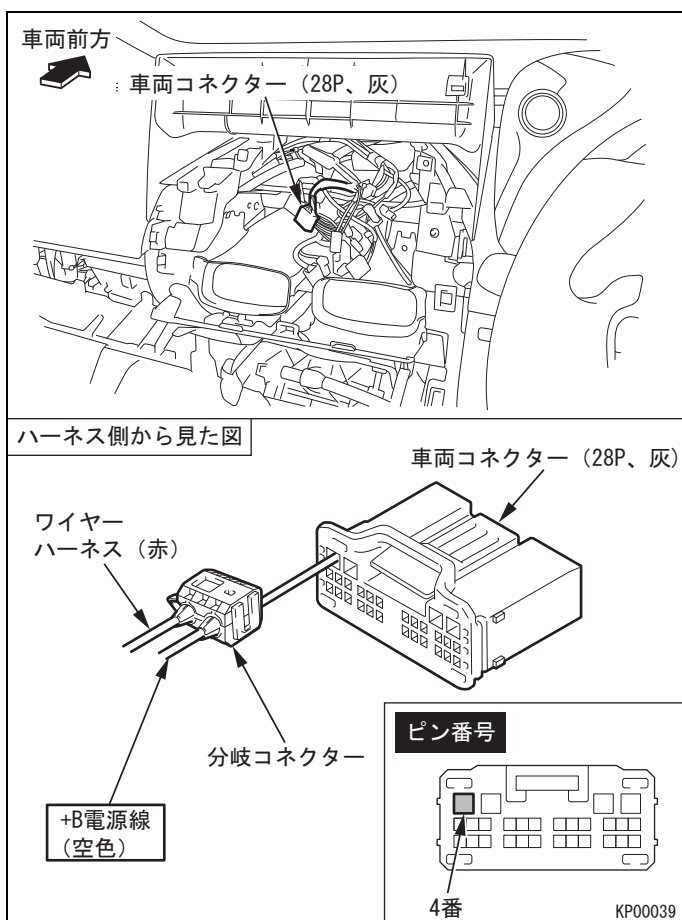
- (2) ワイヤーハーネスの分岐部にビニールテープを 20mm 巻く。



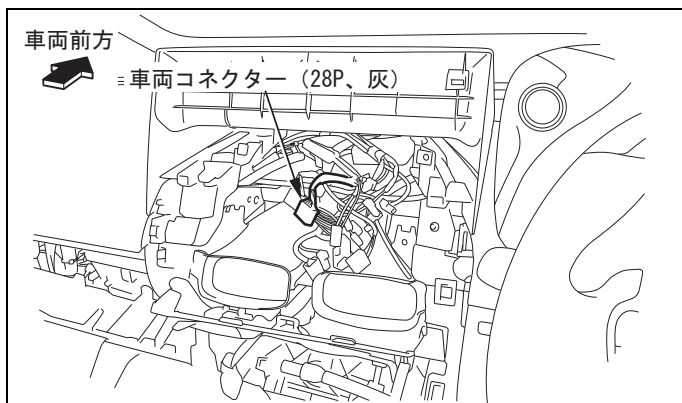
- (3) ワイヤーハーネスを左図のようにオーディオ開口部裏へ配線する。



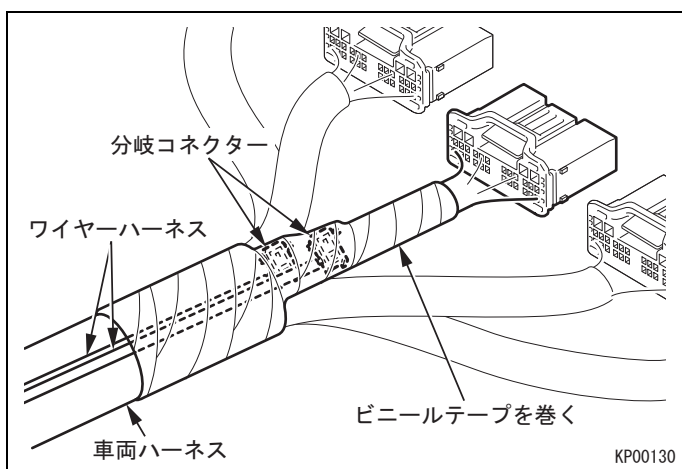
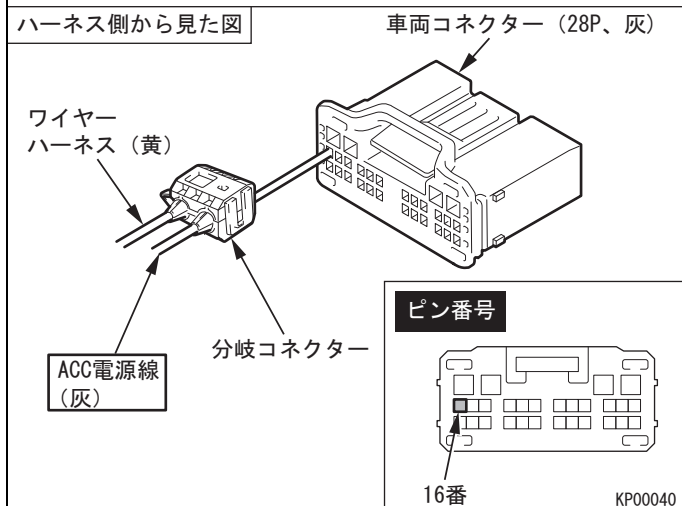
- (4) 車両コネクタ (28P、灰) から約 80mm の位置まで車両ビニールテープを切り取る。



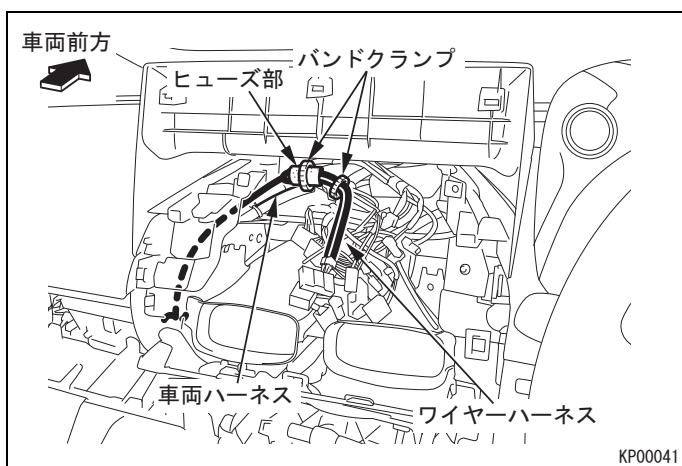
- (5) ワイヤハーネスの分岐コネクタ (線色：赤) を車両コネクタ (28P、灰) の +B 電源線 (4 番、線色：空色) に接続する。  
 (分岐コネクタの接続方法 P. 4 参照)



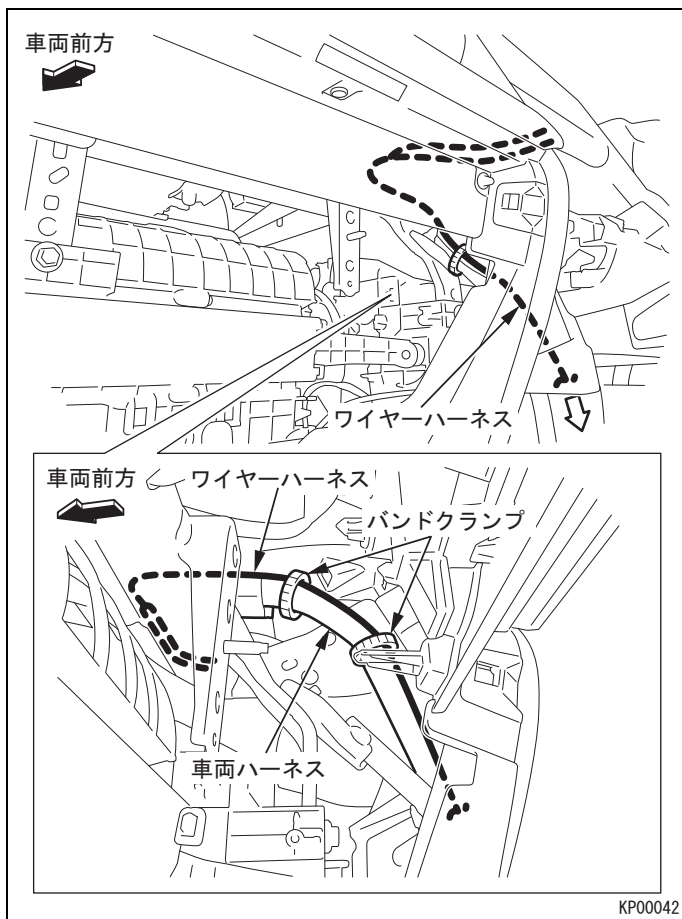
- (6) ワイヤーハーネスの分岐コネクタ (線色 : 黄) を車両コネクタ (28P、灰) の ACC 電源線 (16 番、線色 : 灰) に接続する。  
(分岐コネクタの接続方法 P. 4 参照)



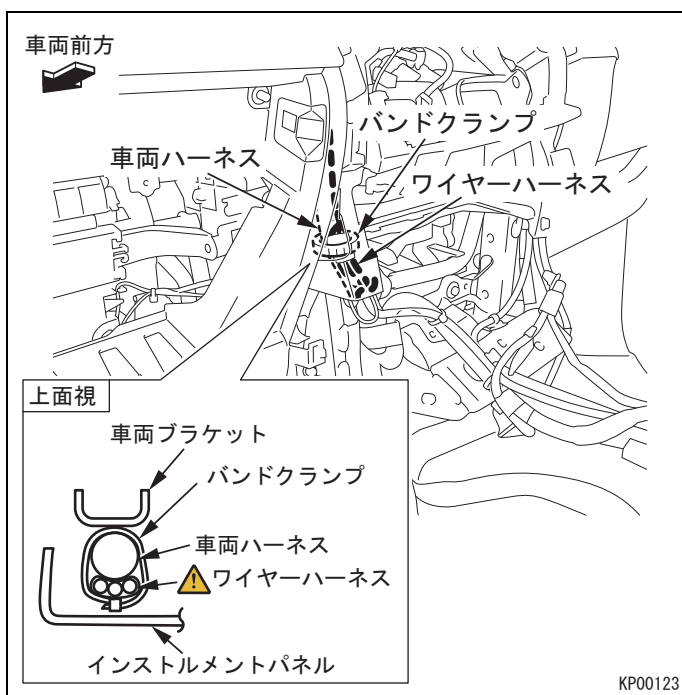
- (7) 分岐コネクタ、ワイヤーハーネスおよび車両ハーネスにビニールテープを巻く。



- (8) ワイヤーハーネスおよびワイヤーハーネスのヒューズ部を車両ハーネスにバンドクランプ 2 本で固定する。



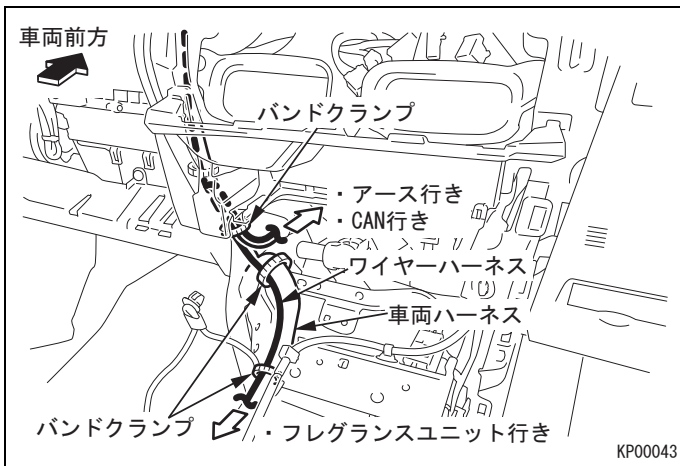
- (9) ワイヤーハーネスを左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ2本で固定する。



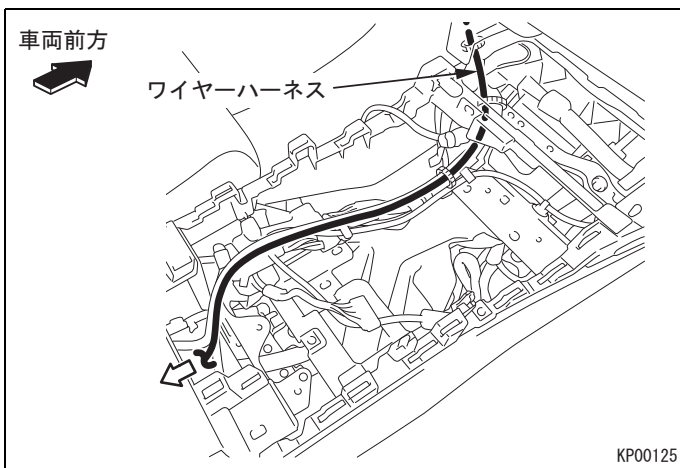
- (10) ワイヤーハーネスを左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。

### 注意

左図の向きでワイヤーハーネスを固定してください。  
 (左図の向き以外で固定した場合、車両部品復元時にワイヤーハーネスがかみ込み、断線するおそれがあります。)



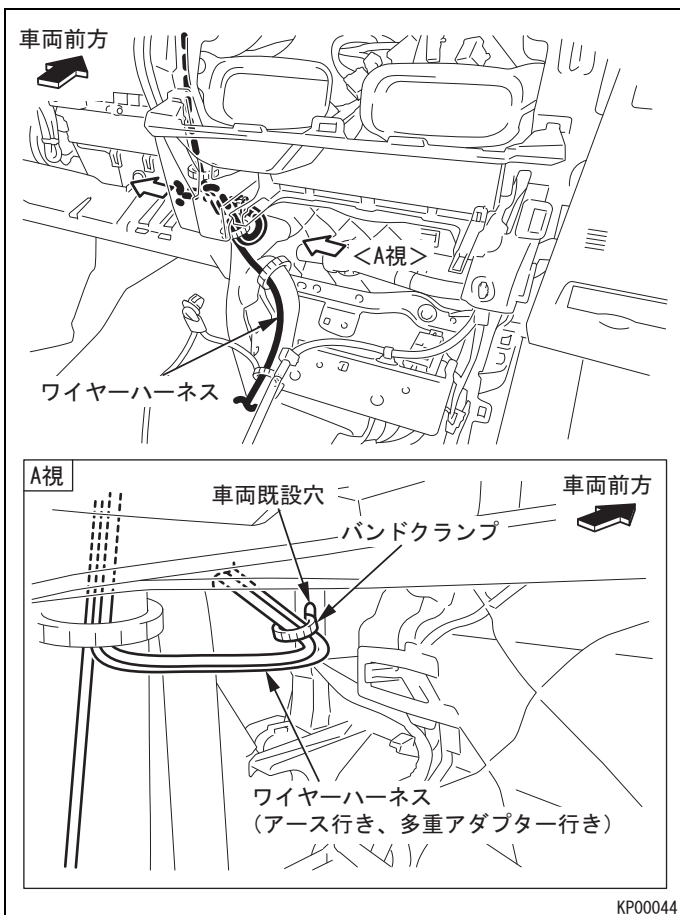
- (11) ワイヤーハーネスを左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。
- (12) ワイヤーハーネス（フレグランスユニット行き）を左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ2本で固定する。



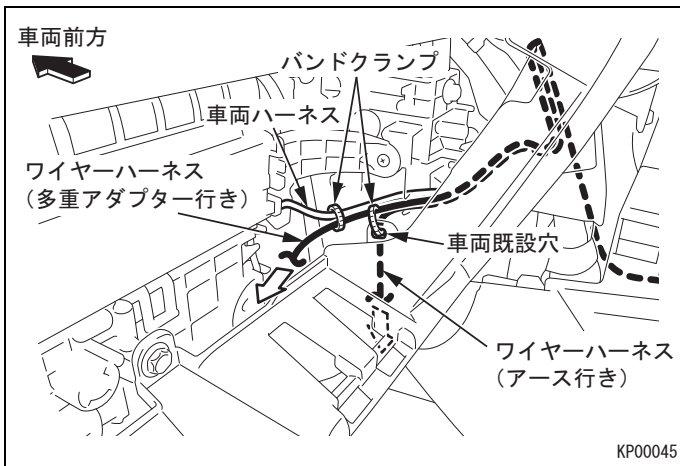
- (13) ワイヤーハーネスを左図のように配線する。

**アドバイス**

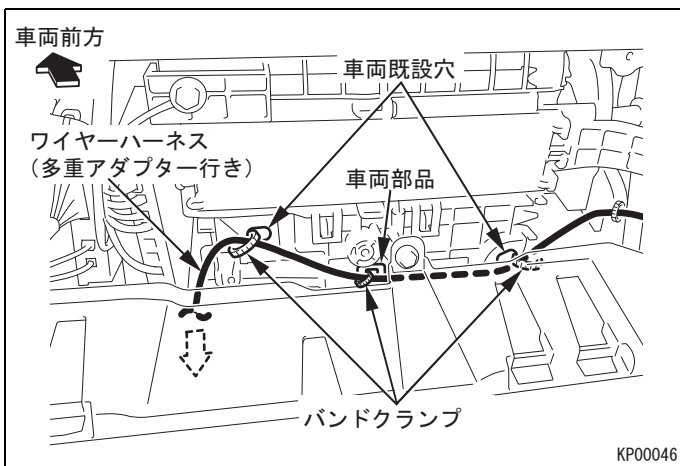
図は電子式タイプを示しますが、機械式タイプも同様に作業をしてください。  
以降の作業も電子式タイプを示します。



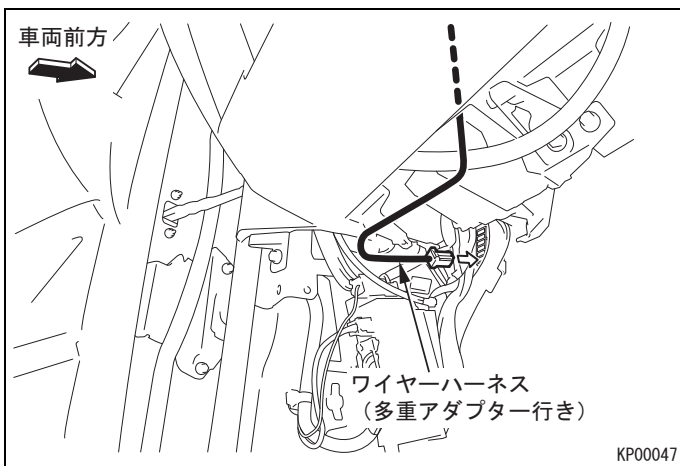
- (14) ワイヤーハーネス（アース行き、多重アダプター行き）を左図のように配線し、車両既設穴にバンドクランプ1本で固定する。



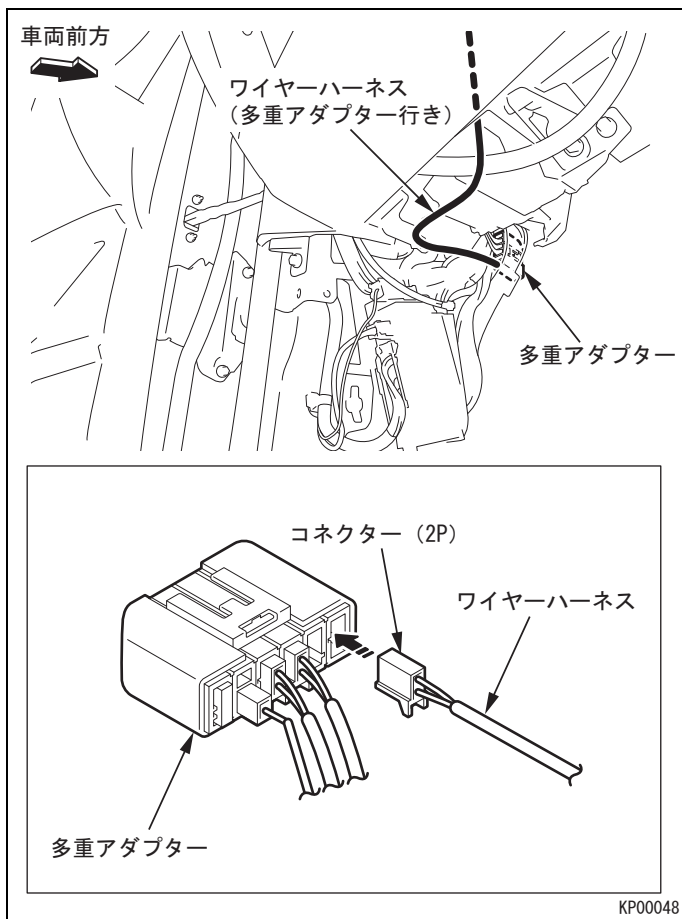
- (15) ワイヤーハーネスを左図のように配線し、車両既設穴にバンドクランプ1本で固定する。
- (16) ワイヤーハーネス (多重アダプター行き) を左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。



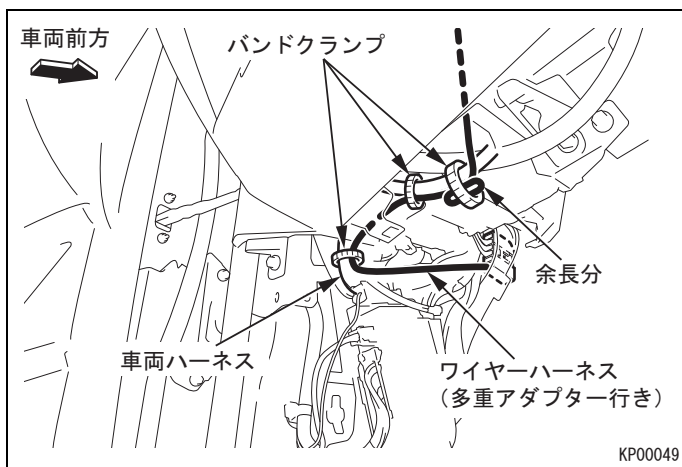
- (17) ワイヤーハーネス (多重アダプター行き) を車両既設穴および車両部品にバンドクランプ3本で固定する。



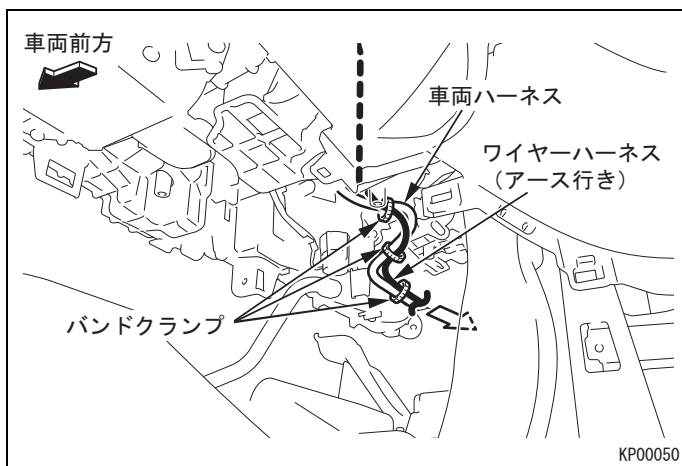
- (18) ワイヤーハーネス (多重アダプター行き) を左図のように配線する。



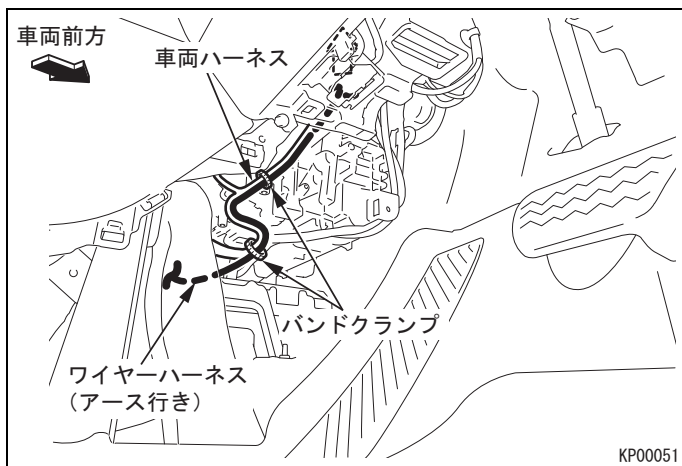
- (19) 多重アダプターにワイヤーハーネス (多重アダプター行き) のコネクター (2P) を接続する。



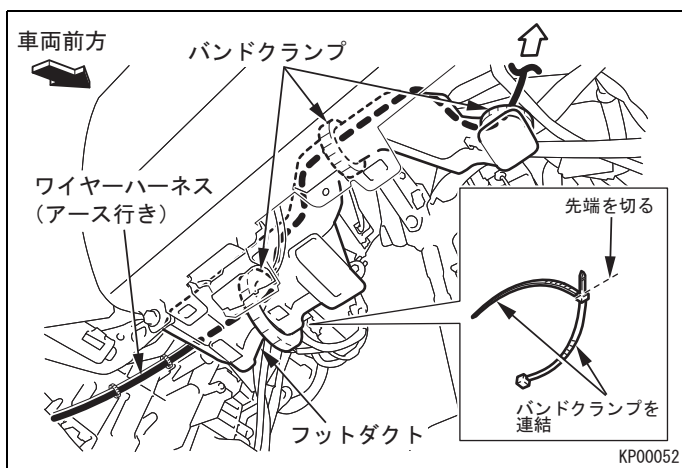
- (20) ワイヤーハーネス (多重アダプター行き) を車両ハーネスにバンドクランプ 2 本で固定する。
- (21) ワイヤーハーネス (多重アダプター行き) の余長分を車両ハーネスにバンドクランプ 1 本で固定する。



- (22) ワイヤーハーネス (アース行き) を左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ 3 本で固定する。



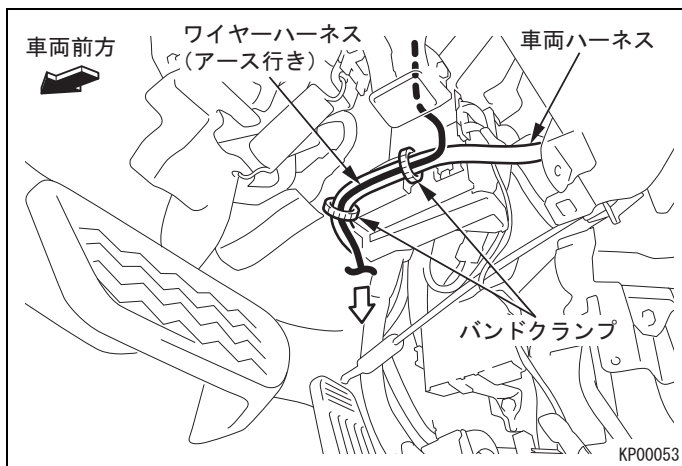
(23) ワイヤーハーネス (アース行き) を左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ 2 本で固定する。



(24) ワイヤーハーネス (アース行き) を左図のように配線し、フットダクトにバンドクランプ 4 本で固定する。

**アドバイス**

ハーネス固定 3 箇所のうち、1 箇所はバンドクランプ 2 本を連結して固定してください。



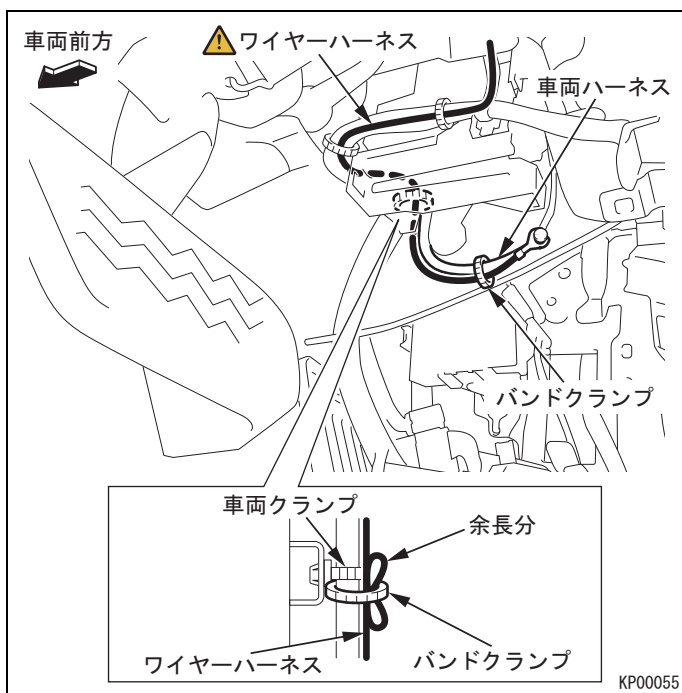
(25) ワイヤーハーネス (アース行き) を左図のように配線し、車両ハーネスにバンドクランプ 2 本で固定する。



(26) ワイヤーハーネス (アース行き) のアース端子をアースボルトに共締めする。

**⚠️ 注意**

締め付けトルクを厳守して作業をしてください。  
10.0N・m

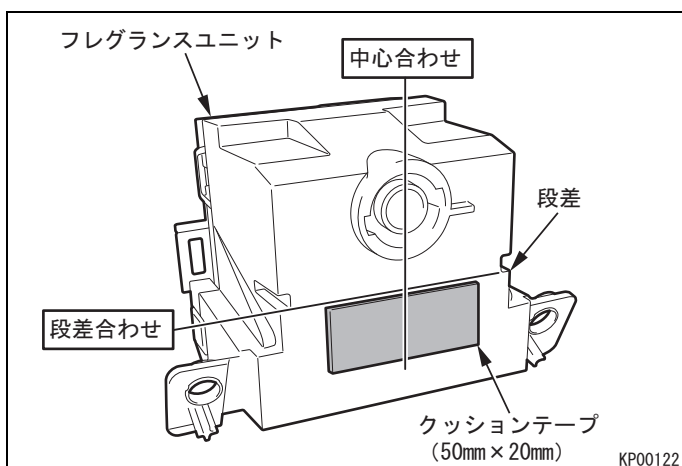


(27) ワイヤーハーネス (アース行き) を車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。

(28) ワイヤーハーネス (アース行き) の余長分を車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。

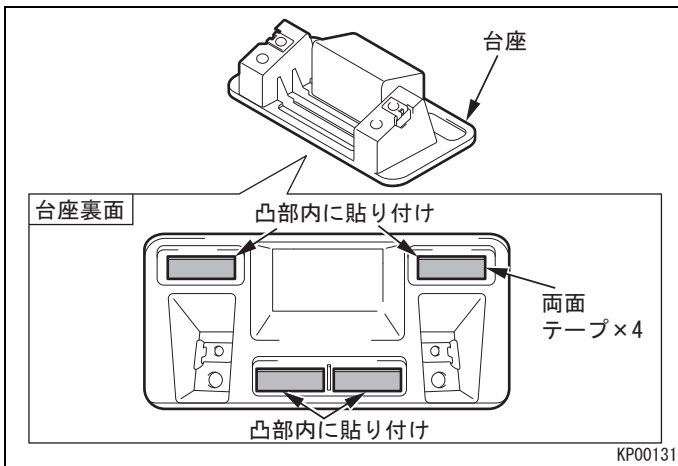
**注意**

ワイヤーハーネスはたるまないようにバンドクランプで固定してください。  
(たるんだ状態で固定した場合、車両部品復元時にワイヤーハーネスがかみ込み、断線するおそれがあります。)

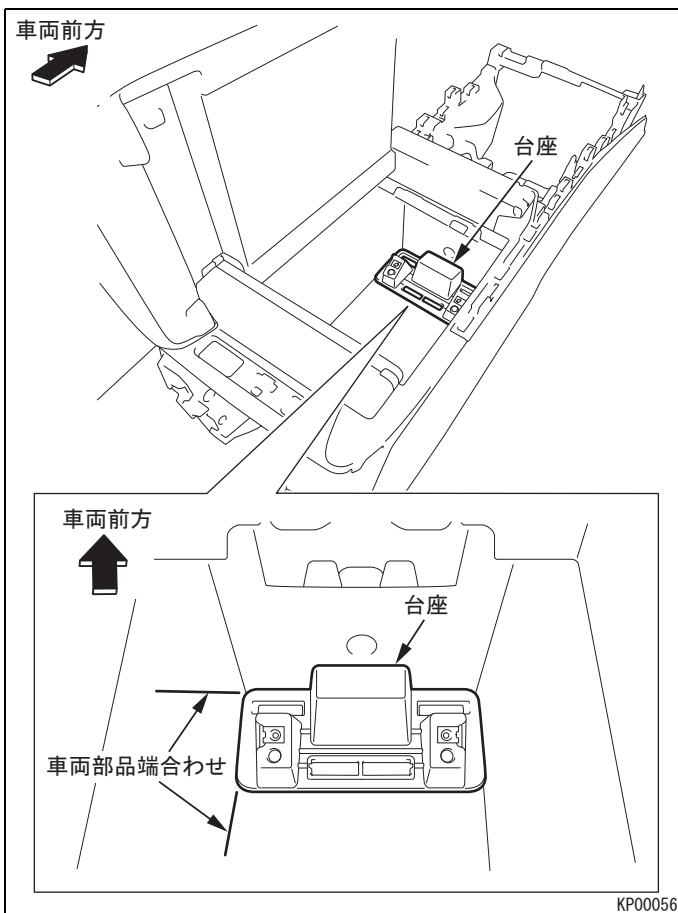


**・フレグランスユニットの取り付け**

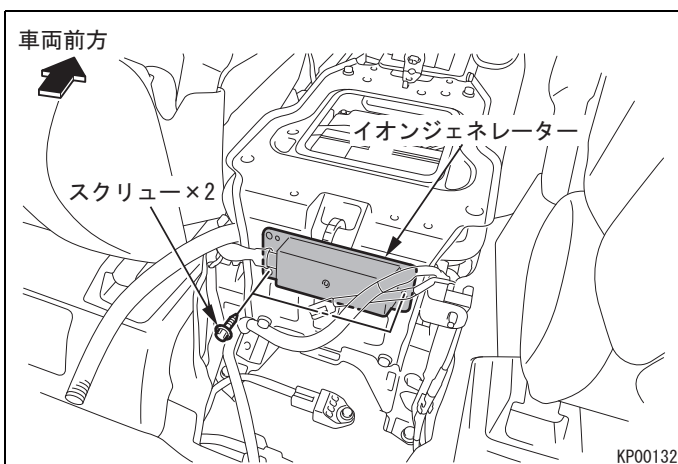
- (1) 左図のクッションテープ (50mm×20mm) 貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを脱脂剤等で十分に脱脂する。
- (2) フレグランスユニット背面の左図の位置にクッションテープ (50mm×20mm) を貼り付ける。



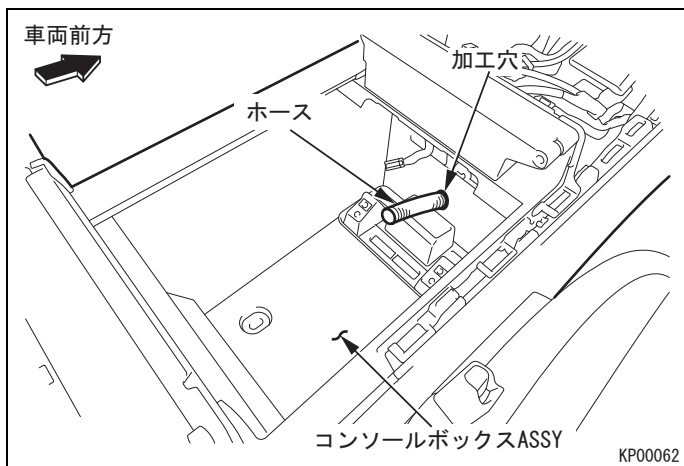
- (3) 左図の両面テープ貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを脱脂剤等で十分に脱脂する。
- (4) 台座の左図の位置に両面テープ4枚を貼り付ける。



- (5) 左図の台座貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを脱脂剤等で十分に脱脂する。
- (6) 台座をコンソールボックス内の左図の位置に貼り付け、49N・mで圧着する。

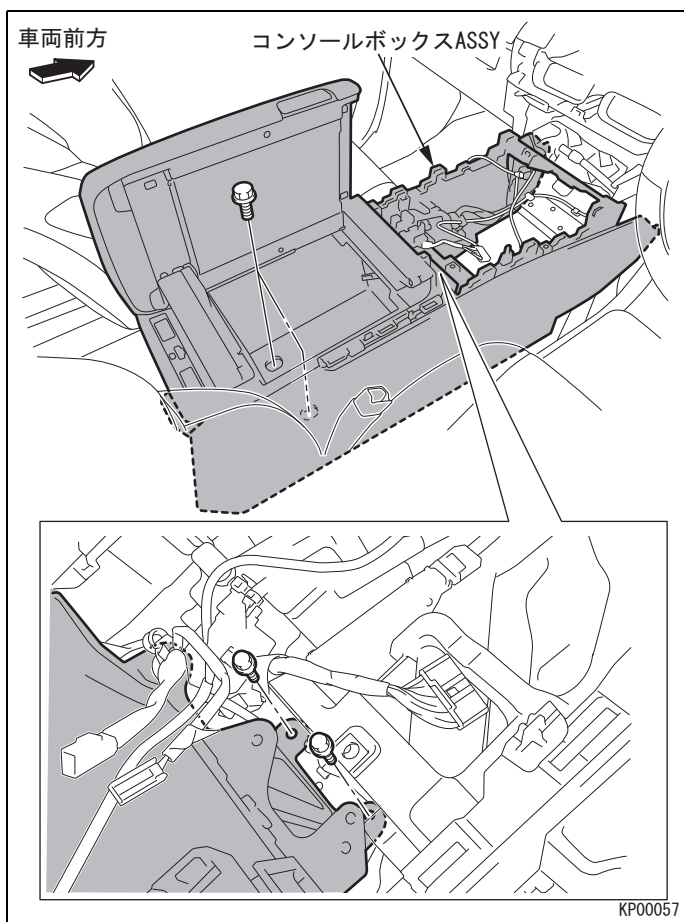


- イオンジェネレーター付車の場合
- (7) イオンジェネレーターを復元する。

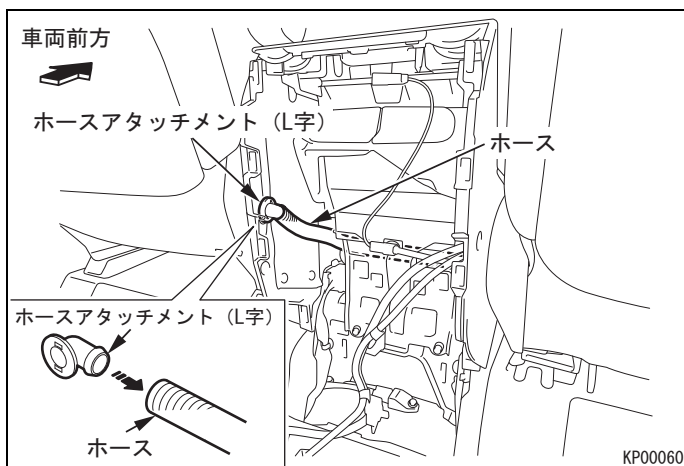


■ 共通

- (8) コンソールボックス ASSY を仮復元し、コンソールボックスの加工穴からホースを取り出す。

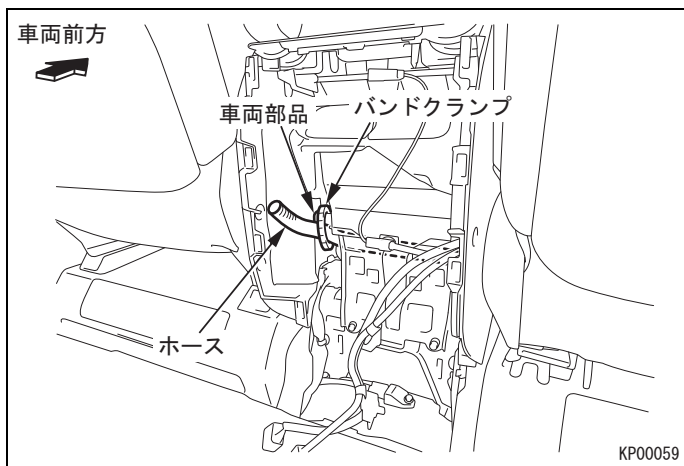


- (9) コンソールボックス ASSY を復元する。

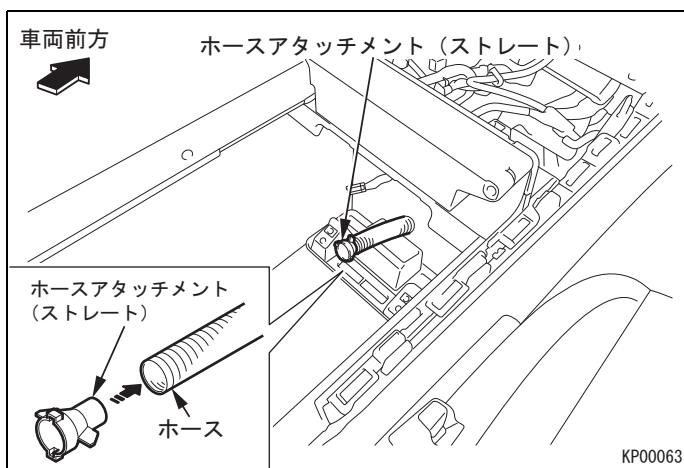


- (10) ホースにホースアタッチメント (L字) を取り付ける。

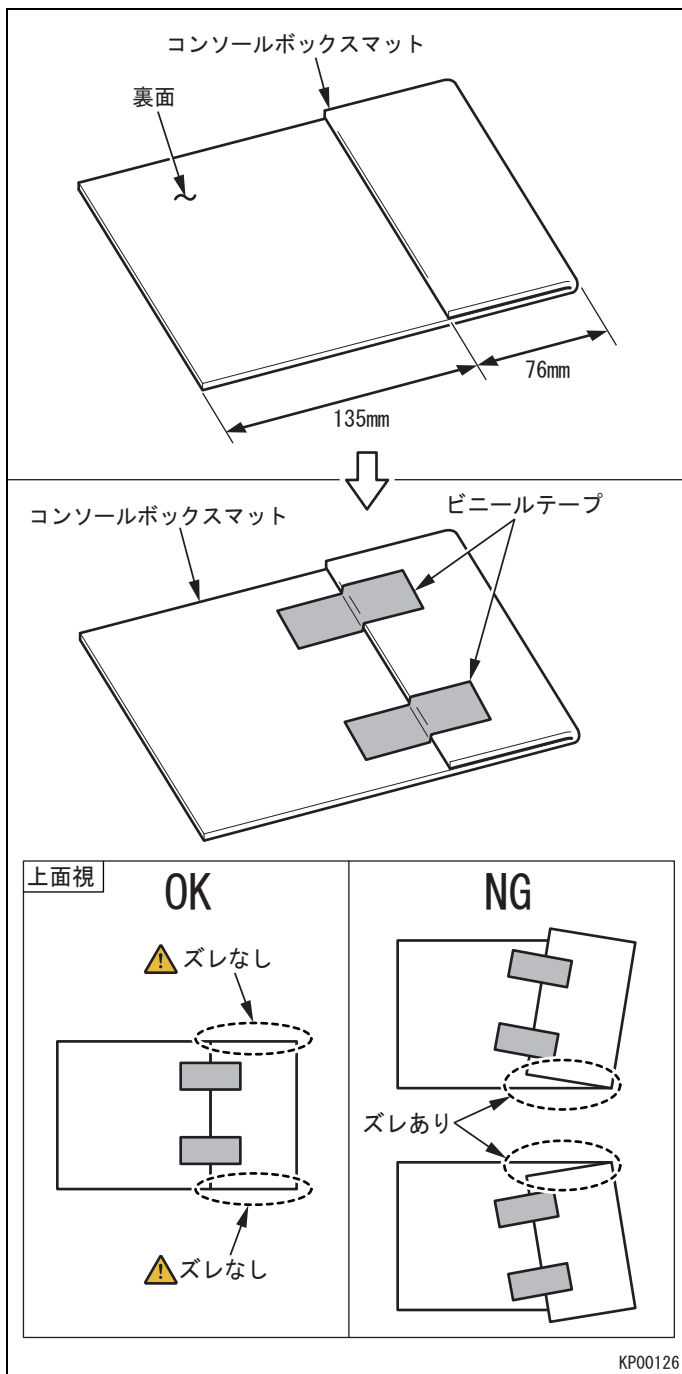




- 除く、イオンジェネレーター付車の場合  
 (14) ホースを車両部品にバンドクランプ1本で固定する。



- 共通  
 (15) ホースにホースアタッチメント (ストレート) を取り付ける。



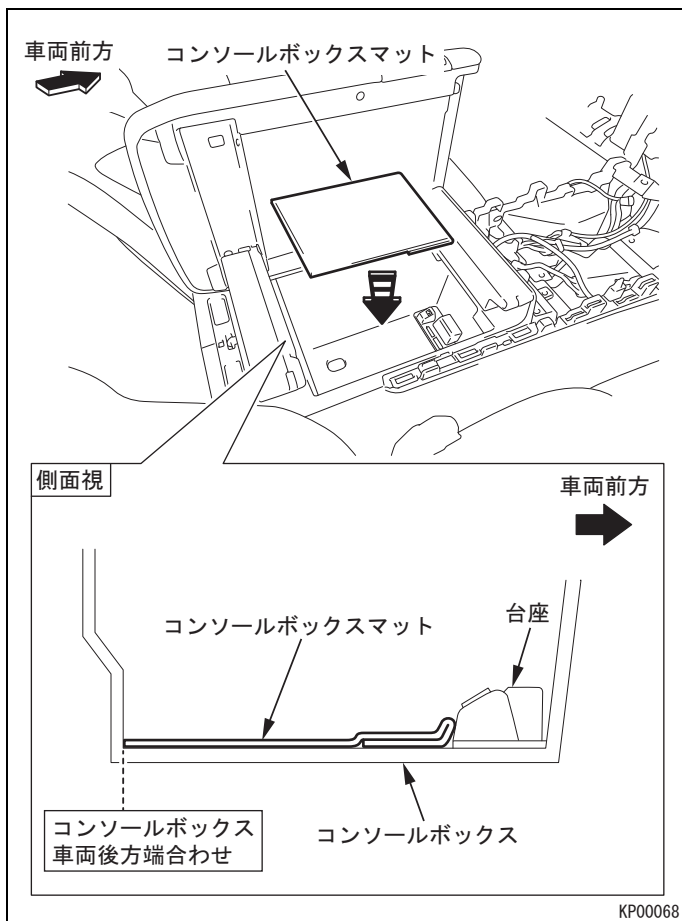
- (16) コンソールボックスマットを裏返し、左図の寸法の位置まで折り曲げる。
- (17) 折り曲げた先端をビニールテープで固定する。

**注意**

マット左右の端がズれていないことを確認してください。

**アドバイス**

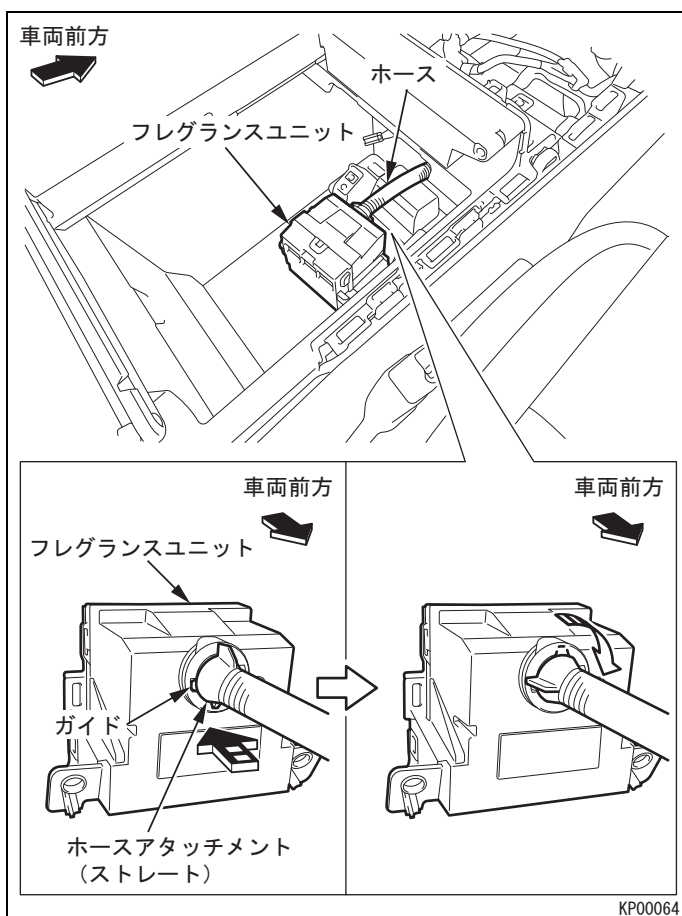
コンソールボックスマットの折り曲げ部を圧着して、折り目を付けてください。



(18) 折り曲げ面が下になるようにコンソールボックス内に復元する。

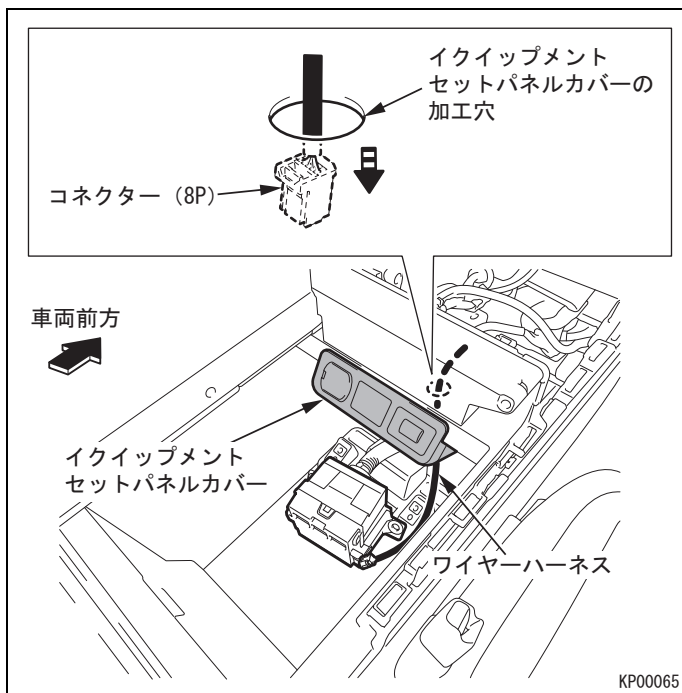
アドバイス

コンソールボックスマットが重なっている箇所が台座側になるように復元してください。

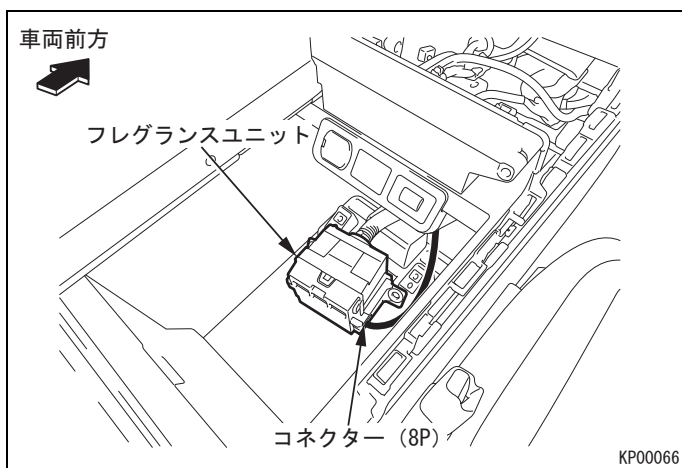


(19) フレグランスユニットをコンソールボックス内に仮置きする。

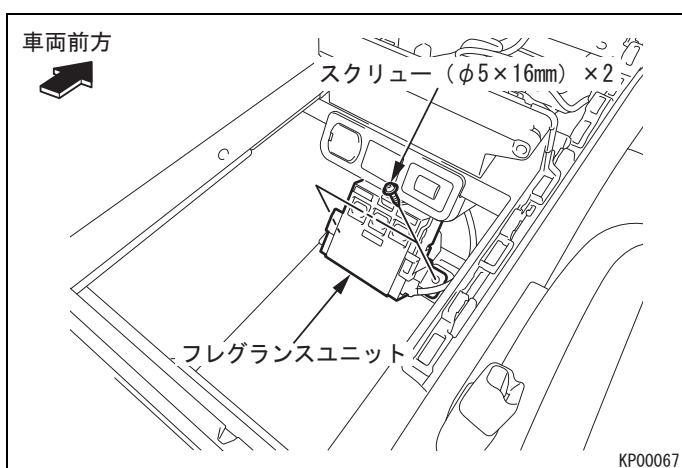
(20) フレグランスユニットにホースアタッチメント (ストレート) を接続する。



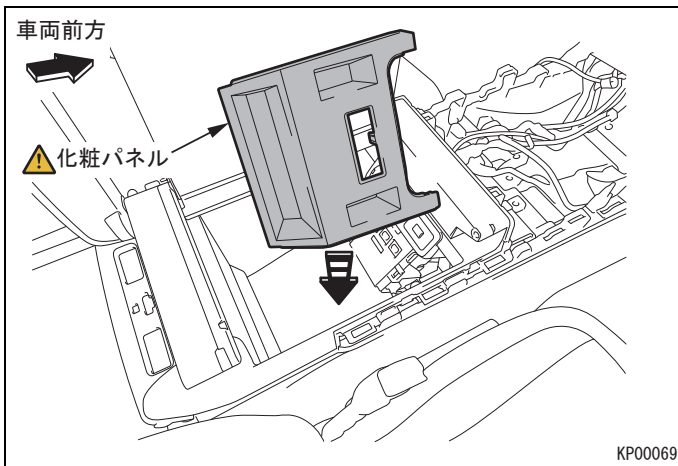
- (21) イクイップメントセットパネルカバーの加工穴からワイヤーハーネスを配線する。
- (22) イクイップメントセットパネルカバーを復元する。



- (23) フレグランスユニットにワイヤーハーネスのコネクタ (8P) を接続する。



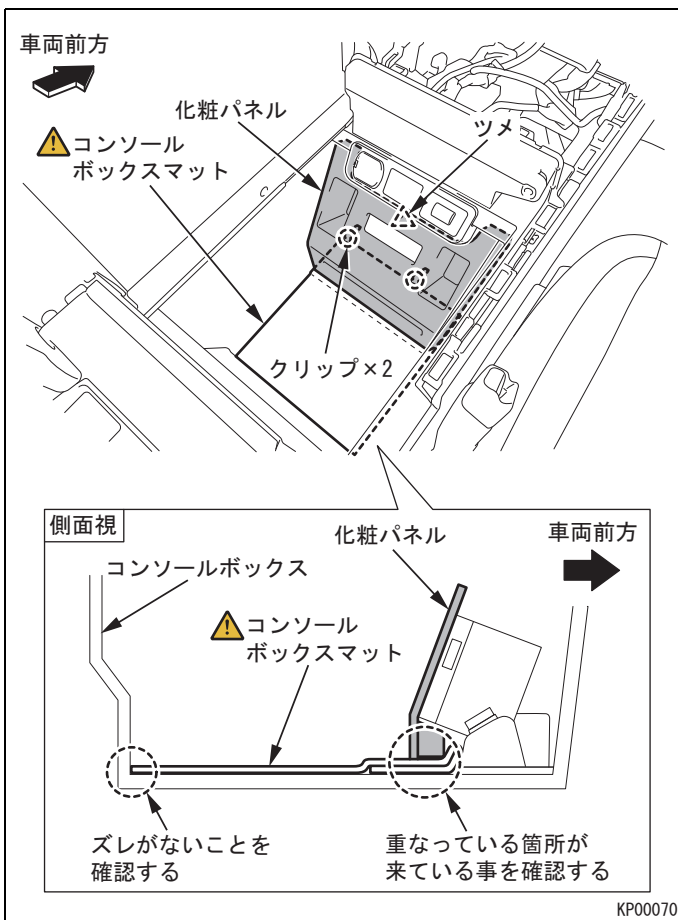
- (24) フレグランスユニットを台座にスクリュー (φ5×16mm) 2個で固定する。



(25) 化粧パネルを左図の向きでコンソールボックス内に挿入する。

### 注意

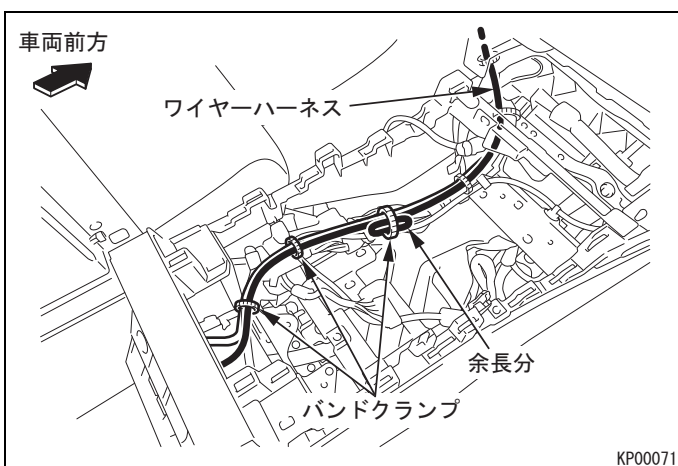
化粧パネルを挿入する際コンソールボックス内の側面と干渉しないようにしてください。  
(干渉した場合、コンソールボックスに傷が付くおそれがあります。)



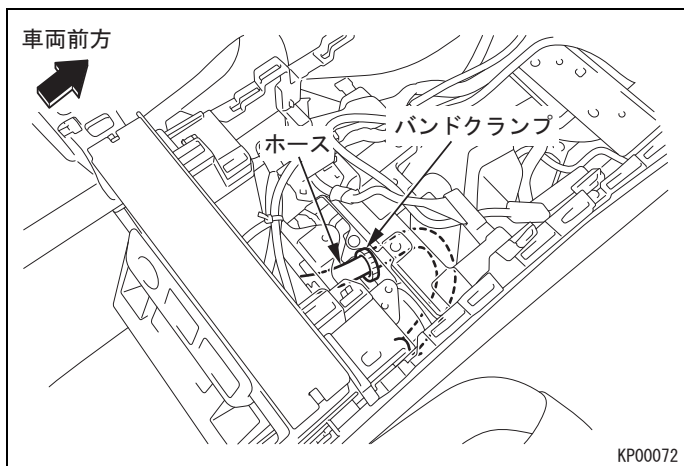
(26) 化粧パネルをコンソールボックスにツメ (1箇所)、クリップ (2箇所) で固定する。

### 注意

- ・コンソールボックスマットがコンソールボックスの後方端からズれていないことを確認してください。ズれている場合は化粧パネルを取りはずしコンソールボックスマットの位置を修正してください。
- ・コンソールボックスマットが重なっている箇所に化粧パネルの下端があることを確認してください。  
(コンソールボックスマットが重なっている箇所以外で取り付けるとガタつくおそれがあります。)

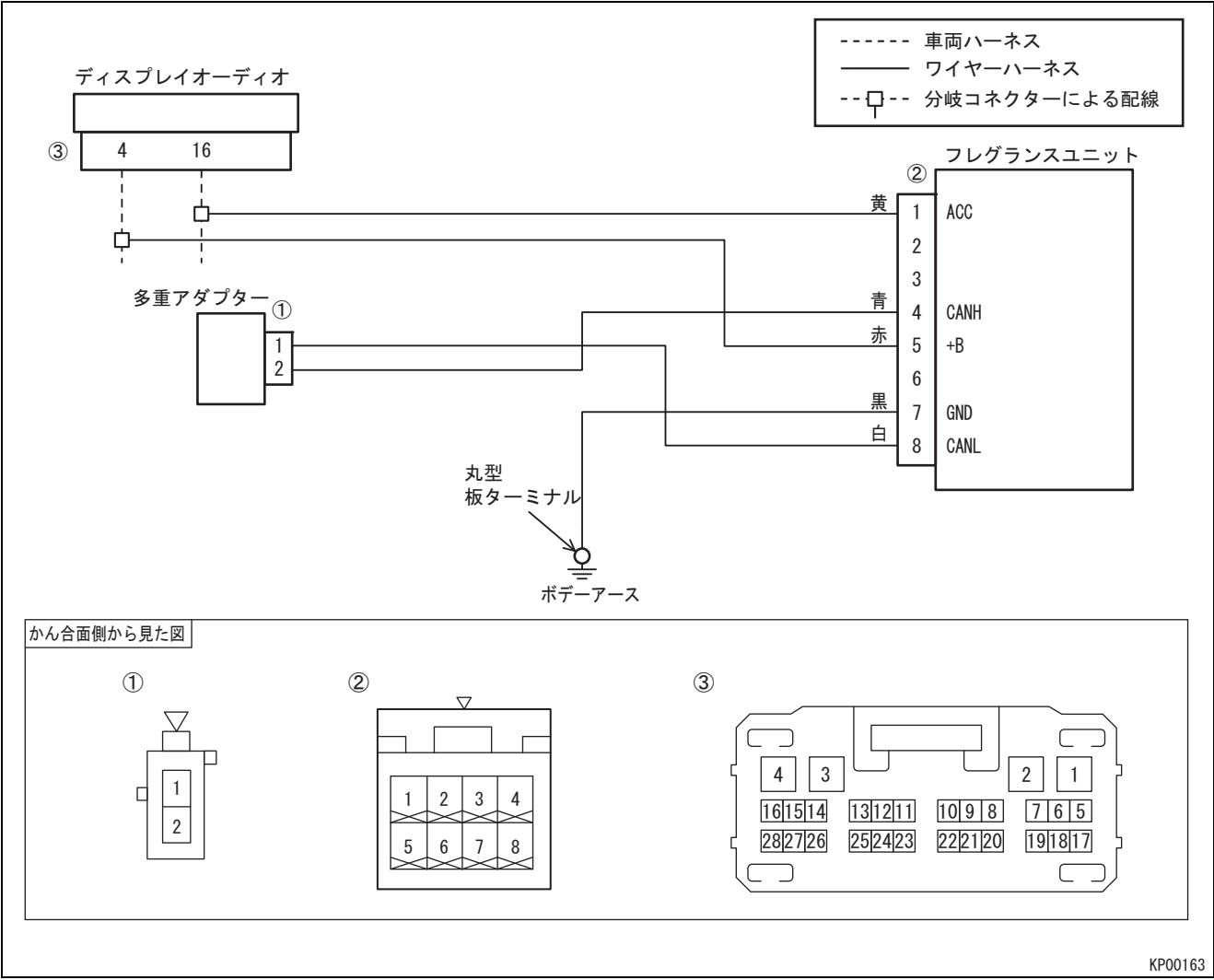


(27) ワイヤーハーネスおよびワイヤーハーネスの余長分を車両ハーネスにバンドクランプ3本で固定する。



- (28) 車両ブラケットに仮固定していたバンドクランプを締め付けて本固定する。

# 配線図



KP00163

## 動作確認

### 注意

- ・取りはずした車両部品のコネクタは確実に接続してください。コネクタを接続しないとダイアグコードが発生するおそれがあります。
- ・個人所有のパソコン（以降、PC）またはスマートフォン（以降、スマホ）は絶対に使用しないでください。個人のPCまたはスマホを使用した場合、情報が外部へ漏洩するおそれがあります。

### アドバイス

- ・動作確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを必ず確認してください。
- ・動作確認にはアプリケーション『TOYOTA Upgrade Switch（以下、アプリ）』をインストールしたPCまたはスマホが必要です。各店舗にて準備をしてください。

バッテリー（－）端子を接続し、READY ON またはイグニッション ON の状態で、以下の手順に従い動作確認を実施してください。

### アドバイス

動作確認には『PC版』と『スマホ版』があります。該当ページを参照してください。

- ・『PC版』で行う場合：P44「PC版での動作確認方法」
- ・『スマホ版』で行う場合：P48「スマホ版での動作確認方法」

## ■ PC版での動作確認方法

### ・盗難防止装置の動作確認

- (1) Smart Upgrade Switch セキュリティシステムの『PC版アプリのインストールと動作確認方法』を参照し、盗難抑止機能の動作確認を実施する。

#### アドバイス

- ・既に Smart Upgrade Switch が装着され使用している車両の場合、盗難抑止機能の動作確認は不要です。Smart Upgrade Switch と同時装着の場合のみ、実施してください。
- ・『PC版アプリのインストールと動作確認方法』の最終項に記載されている「ソフトウェア初期化」は、フレグランスの動作確認が終わるまで初期化作業を実施しないでください。



### ・車両情報の設定

- (1) ホーム画面のサイドバー内「車両情報変更」をクリックする。

#### アドバイス

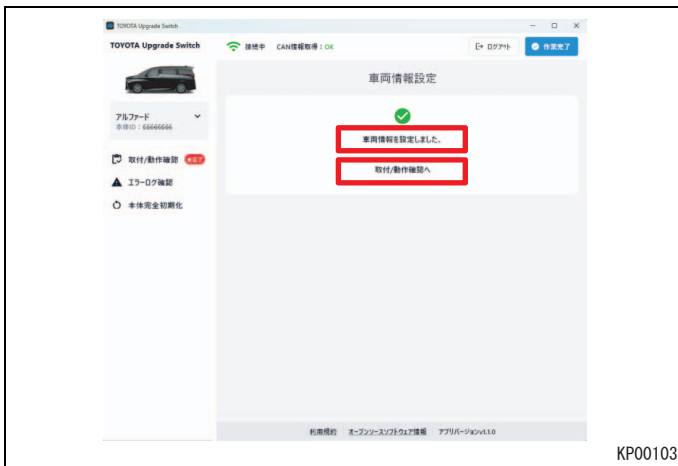
既に車両情報設定のパッケージ選択画面にて「フレグランス」を選択している場合、車両情報の設定は不要となります。P. 45の「フレグランスの動作確認」から始めてください。



- (2) パッケージ選択画面まで進み、「フレグランス」にチェックを入れて、「進む」ボタンをクリックする。



- (3) 登録内容を確認し、間違いがなければ「決定する」ボタンをクリックする。



KP00103

- (4) 「車両情報を設定しました。」の通知を確認し、「取付 / 動作確認へ」ボタンをクリックする。



KP00104

### ・フレグランスの動作確認

- (1) 取扱書を参照してカートリッジをフレグランスに差し込み、フレグランスの動作確認を実施する。  
 (2) 「フレグランス」をクリックする。

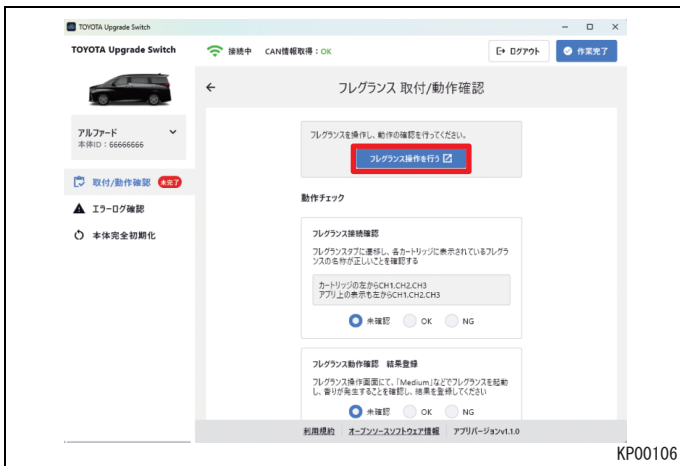


KP00105

- (3) 各チェック項目の内容を確認し、チェックを入れて「確認画面へ進む」ボタンをクリックする。

### アドバイス

- ・ Smart Upgrade Switch 本体ソフトウェアのバージョンについては、サイドバーの本体バージョンを確認してください。
- ・ アプリのバージョンについては、画面下のアプリバージョンを確認してください。
- ・ Smart Upgrade Switch 本体およびアプリのバージョンが 1.1.0 以上になっていることを確認してください。



- (4) 「フレグランス操作を行う」ボタンをクリックして操作画面を開く。



- (5) 画面上に表示された各チャンネルの「香り」名称と、挿し込まれたカートリッジの「香り」名称が一致しているか確認し、「設定を変更する」ボタンをクリックする。

### アドバイス

画面上の「香り」名称と挿し込んだカートリッジの「香り」名称が一致しない場合、P. 44の「車両情報の設定」からやり直してください。



- (6) チャンネル選択および風量選択を実施後、「設定を保存する」ボタンをクリックし、フレグランスが動作することを確認する。

### アドバイス

各チャンネル、各風量への切替を実施して、フレグランスが設定通りに動作することを確認してください。



(7) 動作確認結果を選択し、「保存する」ボタンをクリックする。



(8) フレグランスの動作確認が完了していることを確認し、「作業完了」ボタンをクリックする。

### アドバイス

Smart Upgrade Switch と同時装着ではない場合、「盗難抑止」が未完了と表示されますが、「盗難抑止」の動作確認は不要です。

## ・ 本体ソフトウェア初期化

(1) Smart Upgrade Switch セキュリティシステムの『PC 版アプリのインストールと動作確認方法』を参照し、「本体ソフトウェア初期化」を実施する。

### 注意

納車前に必ず「本体ソフトウェア初期化」(ユーザーパスワード初期化、盗難抑止機能の設定内容初期化)を実施してください。

本体ソフトウェアの初期化を実施せずに納車した場合、お客様がログインできなくなるおそれがあります。

### アドバイス

Smart Upgrade Switch と連携する他用品を同時に装着する場合は、対象用品の動作確認を順次実施し、すべての対象用品の動作確認完了後に「本体ソフトウェア初期化」を実施してください。

## ■ スマホ版での動作確認方法

### ・盗難防止装置の動作確認

- (1) Smart Upgrade Switch セキュリティシステムの『スマホ版動作確認』を参照し、盗難抑止機能の動作確認を実施する。

#### アドバイス

- ・既に Smart Upgrade Switch が装着されている車両の場合、盗難抑止機能の動作確認は不要です。Smart Upgrade Switch と同時装着の場合のみ、実施してください。
- ・『スマホ版動作確認』の最終項に記載されている「ソフトウェア初期化」は、フレグランスの動作確認が終わるまで初期化作業を実施しないでください。



### ・車両情報の設定

- (2) 「販売店モード」から、「車両登録 / 変更」画面を開く。

#### アドバイス

既に車両情報設定のパッケージ選択画面にて「フレグランス」を選択している場合、車両情報の設定は不要となります。P. 49の「フレグランスの動作確認」から始めてください。



- (3) パッケージ選択画面まで進み、「フレグランス」にチェックを入れて「進む」ボタンをタップする。



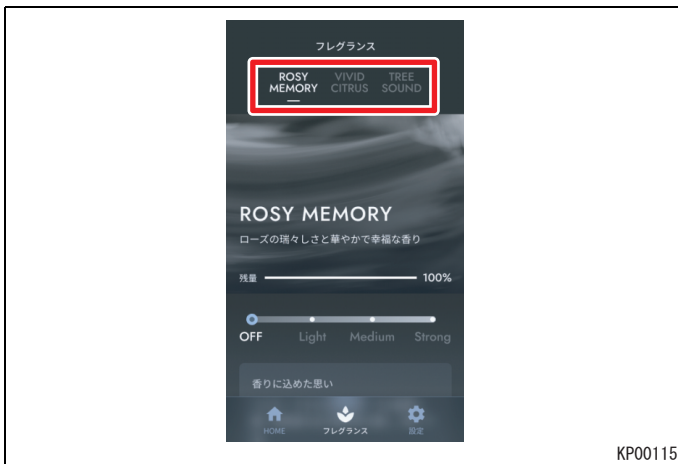
- (4) 登録内容を確認し、間違いがなければ「決定する」ボタンをタップする。
- (5) 「車両情報を設定しました。」の通知を確認して「OK」ボタンをタップする。



KP00114

## ・フレグランスの動作確認

- (1) 取扱書を参照してカートリッジをフレグランスに差し込み、フレグランスの動作確認を実施する。
- (2) 「ホーム」画面の「フレグランス」をタップする。

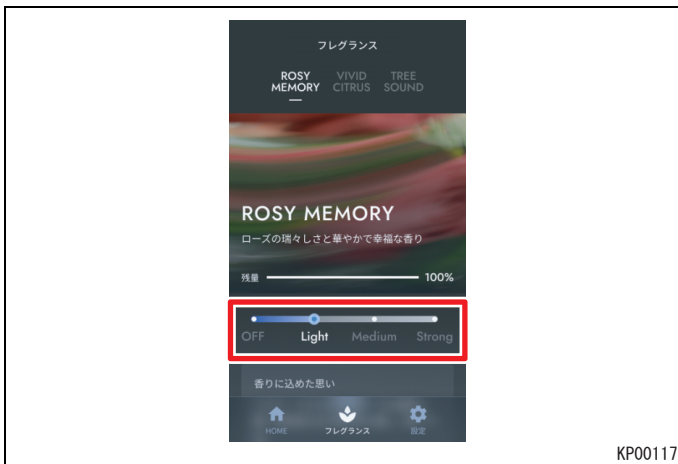


KP00115

- (3) 画面上に表示された各チャンネルの「香り」名称と、挿し込まれているカートリッジの「香り」名称が一致しているか確認する。

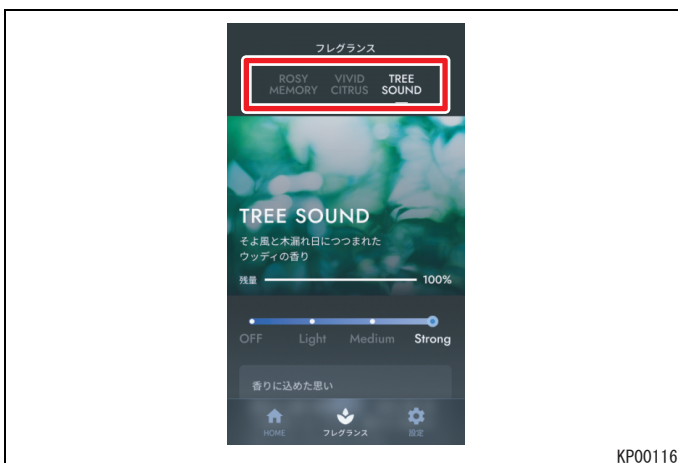
### アドバイス

画面上の「香り」名称と挿し込んだカートリッジの「香り」名称が一致しない場合、P. 48の「車両情報の設定」からやり直してください。



KP00117

- (4) 「風量」を順番に選択し、風量が切り替わることを確認する。



KP00116

- (5) 「風量」を「Strong」に固定して3種類の「香り」を順番に選択し、香りが切り替わることを確認する。



KP00118

## ・ Smart Upgrade Switch への登録

(1) 「販売店モード」から「取付 / 動作確認」の画面を開く。



KP00119

(2) 「フレグランス」ボタンをタップする。



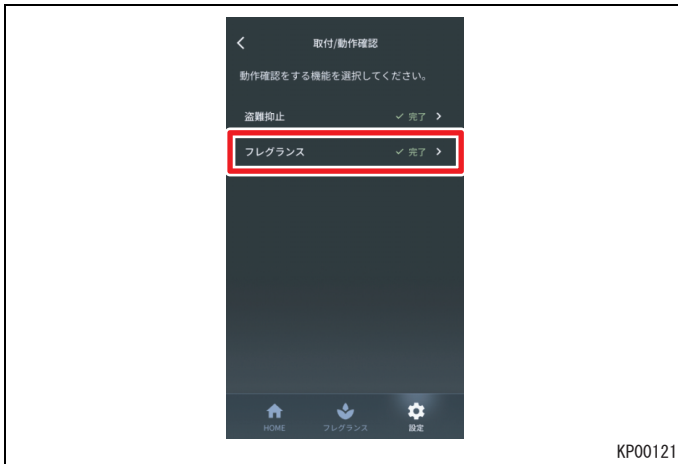
KP00120

(3) チェック項目に記載されている内容が対応済みなことを確認し、チェックを入れて「確認画面へ進む」ボタンをタップする。

(4) 「フレグランス接続確認」および「フレグランス動作確認 結果登録」の確認結果を選択し「保存する」ボタンをタップする。

### アドバイス

- ・ Smart Upgrade Switch 本体ソフトウェアのバージョン確認方法については、Smart Upgrade Switch セキュリティシステム取扱書の「本体のソフトウェア更新をする」を参照してください。
- ・ アプリのバージョン確認方法については、Smart Upgrade Switch セキュリティシステム取扱書の「アプリを更新する」を参照してください。
- ・ Smart Upgrade Switch 本体およびアプリのバージョンが 1.1.0 以上になっていることを確認してください。



- (5) フレグランスの動作確認が「完了」になっていることを確認する。

#### アドバイス

Smart Upgrade Switch と同時装着でない場合、「盗難抑止」が未完了と表示されますが、「盗難抑止」の動作確認は不要です。

### ・ 本体ソフトウェア初期化

- (1) Smart Upgrade Switch セキュリティシステムの『スマホ版動作確認』を参照し、「本体ソフトウェア初期化」を実施する。

#### 注意

納車前に必ず「本体ソフトウェア初期化」（ユーザーパスワード初期化、盗難抑止機能の設定内容初期化）を実施してください。

本体ソフトウェアの初期化を実施せずに納車した場合、お客様がログインできなくなるおそれがあります。

#### アドバイス

Smart Upgrade Switch と連携する他用品を同時に装着する場合は、対象用品の動作確認を順次実施し、すべての対象用品の動作確認完了後に「本体ソフトウェア初期化」を実施してください。

## トラブルシュート

### アドバイス

- ・ Smart Upgrade Switch セキュリティシステムへの各参照先は、参照先一覧を確認してください。
- ・ スマホアプリ「TOYOTA Upgrade Switch」のバージョンが「1.1.0」以上になっていることを確認してください。
- ・ 本体「Smart Upgrade Switch」のソフトウェアバージョンが最新になっていることを確認してください。
- ・ トラブルシュートを始める前に Smart Upgrade Switch セキュリティシステムが正常に機能していることを確認してください。異常がある場合、先に Smart Upgrade Switch セキュリティシステムのトラブルシュートを実施してください。

### 参照先一覧

参照内容名	別冊資料名	参照先タイトル
Smart Upgrade Switch のソフトウェアバージョン	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム取扱書	本体のソフトウェアを更新する
スマホアプリ「TOYOTA Upgrade Switch」のバージョン	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム取扱書	本アプリについて
パスワード初期化 本体ソフトウェア初期化	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム スマホ版動作確認	本体ソフトウェア初期化
	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム PC 版アプリのインストールと動作確認方法	アプリの使い方（作業を終える）
スマホの端末設定	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム トラブルシュート	端末の設定・動作確認
Smart Upgrade Switch のワイヤーハーネスおよびコネクタ点検	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム トラブルシュート	ハーネス・コネクタ点検表
Smart Upgrade Switch のダイアグコード一覧	Smart Upgrade Switch セキュリティシステム トラブルシュート	ダイアグコード一覧表

## 注意

お客様の使用中に不具合が発生して在庫した場合、下記に注意してください。

1. 在庫時は Smart Upgrade Switch の盗難抑止機能の解除をお客様に依頼してください。
2. トラブルシュート中、お客様が同席せず、フレグランスの操作が必要な場合、下記のいずれかで対応してください。
  - ・事前にお客様へ Smart Upgrade Switch のユーザーパスワードを、簡易的なものへ変更していただくよう依頼し、販売店の PC またはスマホでログインして操作する。
  - ・お客様のスマホで初期化※をして、販売店の PC またはスマホで仮のユーザーパスワードを設定し、ログインして操作する。
3. 「本体 ID」や「KEY」の情報が必要になる場合、Smart Upgrade Switch 本体付属のラベルシール、または Smart Upgrade Switch 本体に貼り付けられているラベルシールを確認してください。
4. 本体ソフトウェア初期化※をした場合、本体の各種設定（車両情報以外の本体設定情報）も初期化されるため、再設定が必要になる旨、お客様にお伝えください。

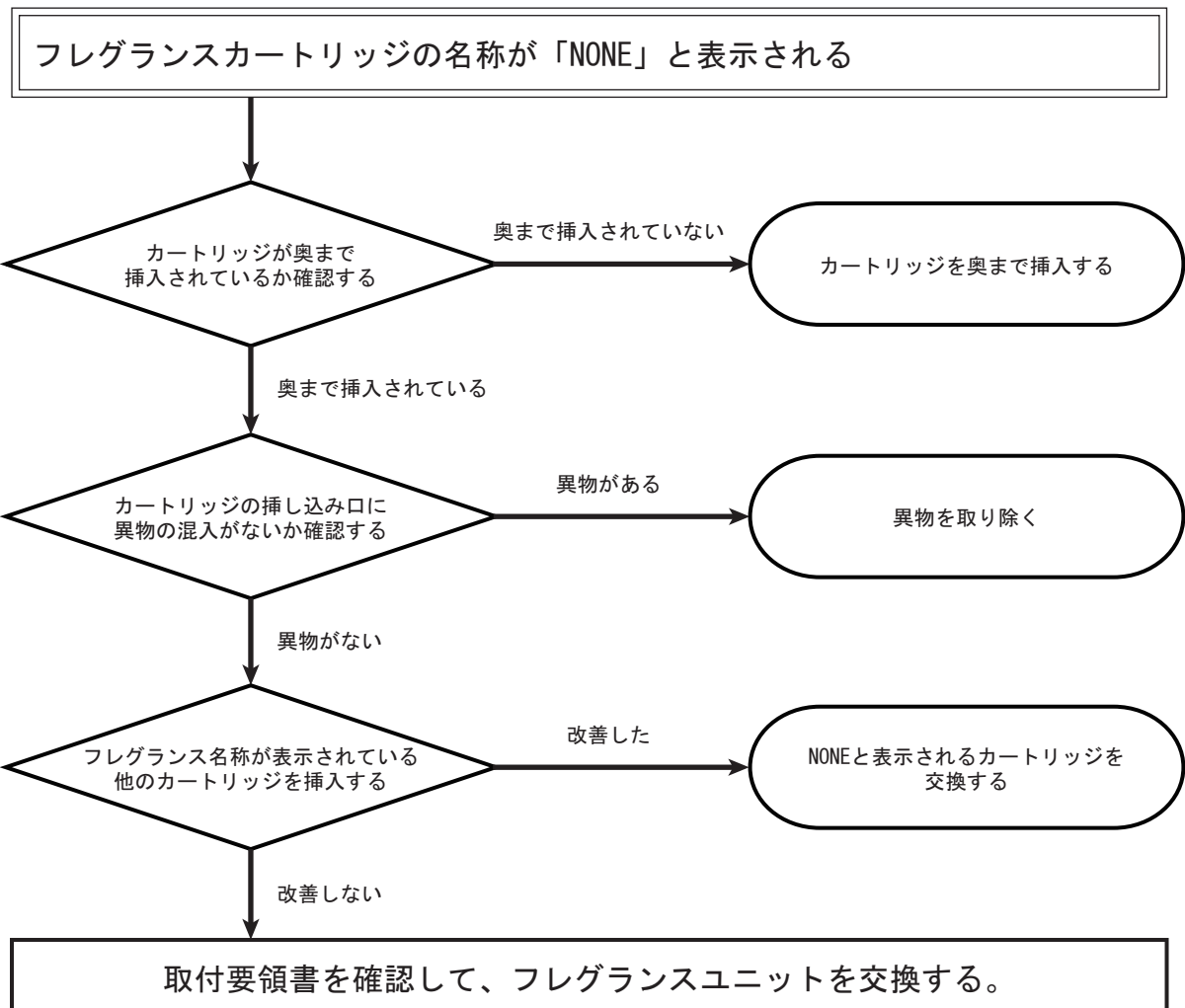
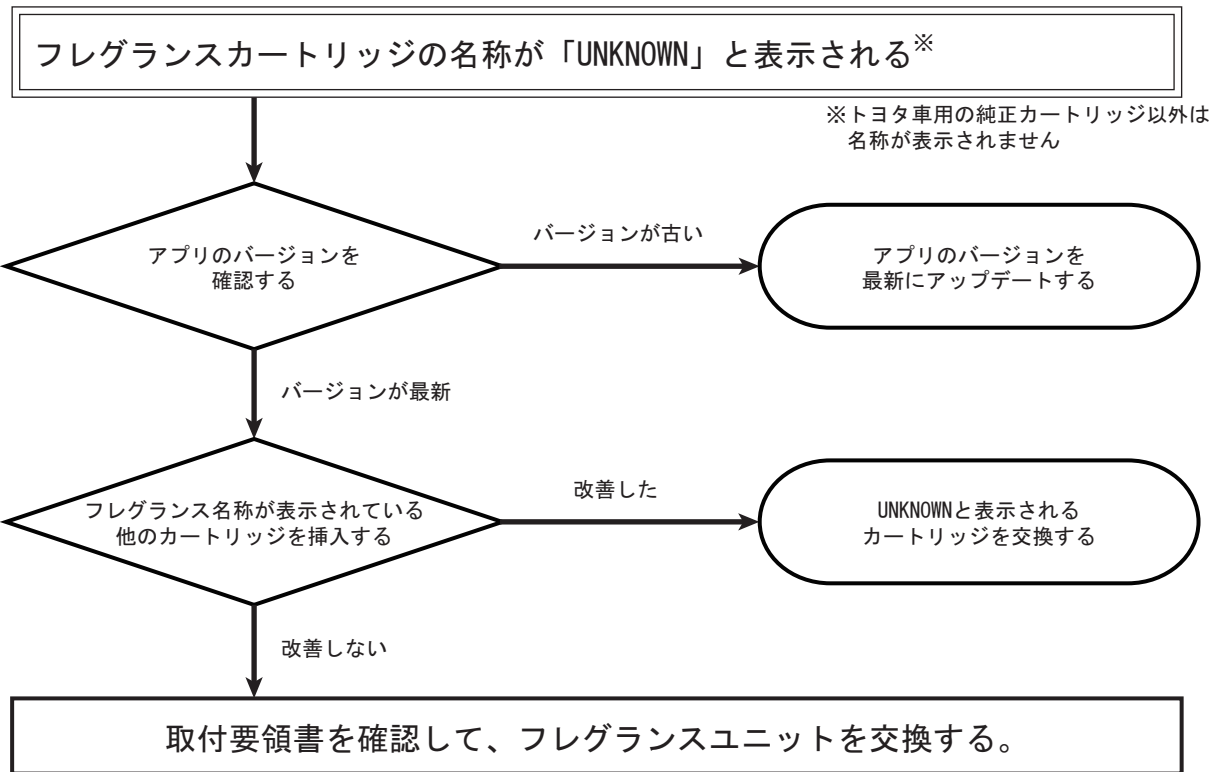
〈ラベルシール〉

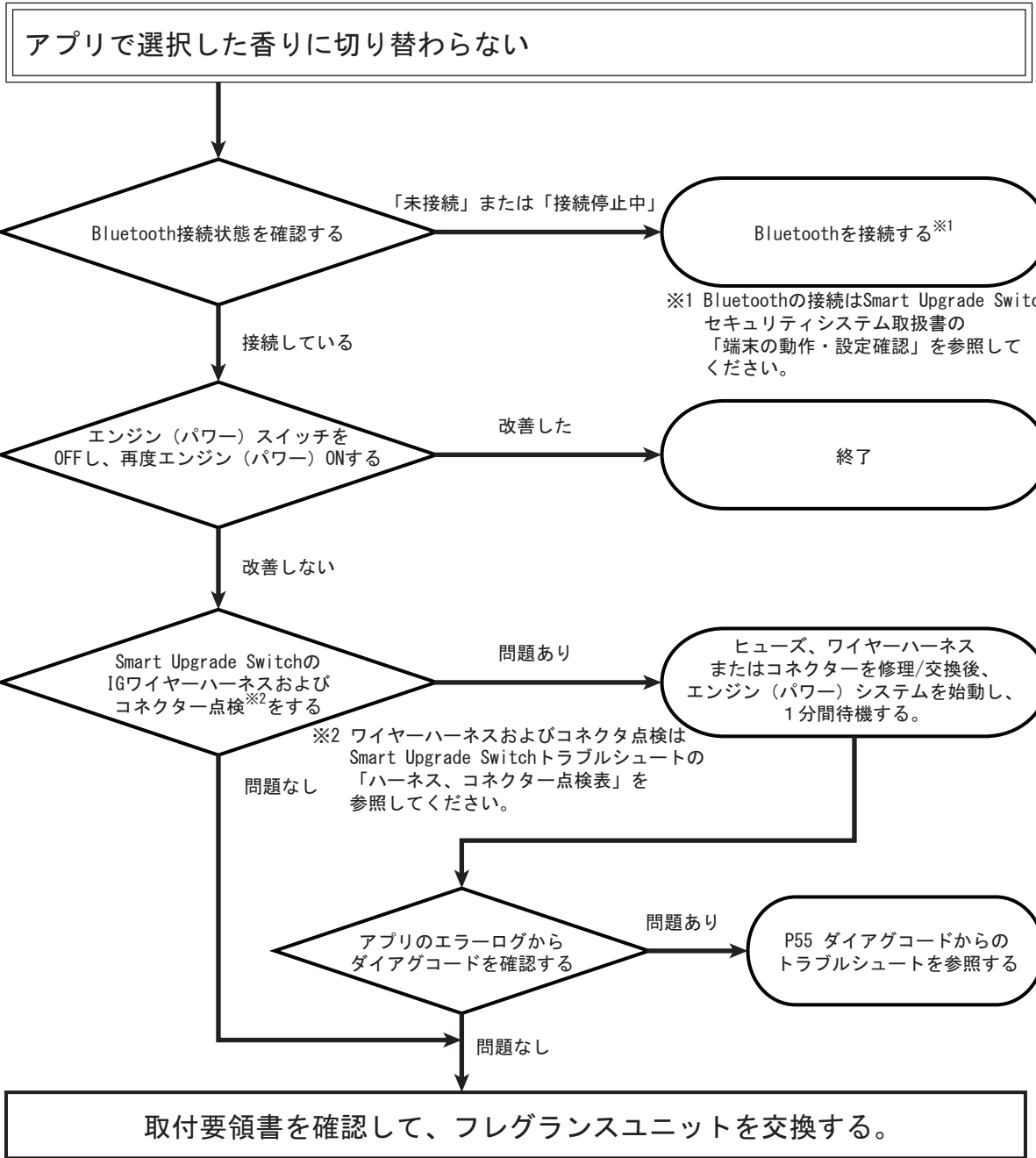


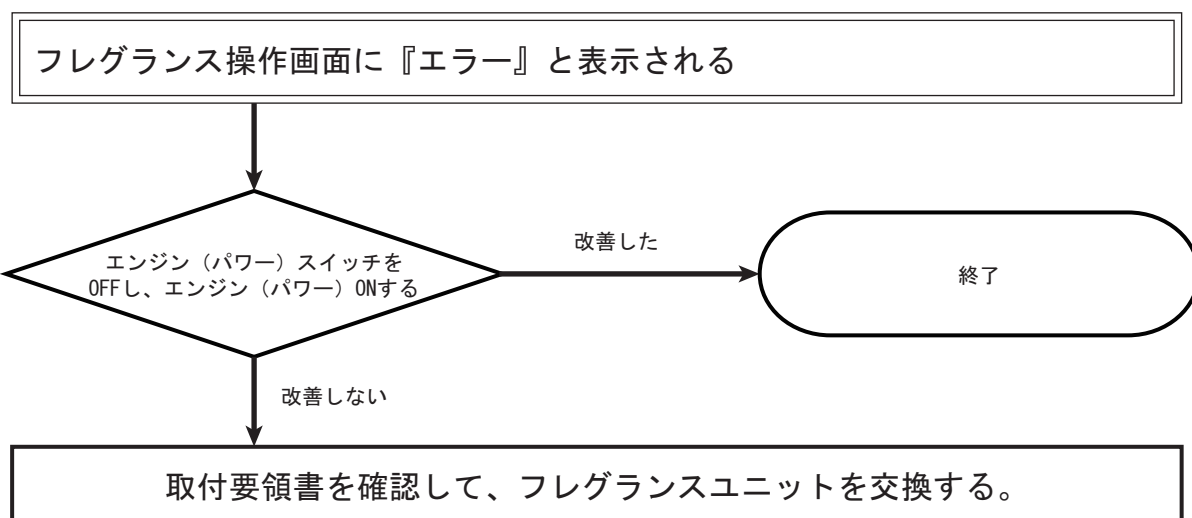
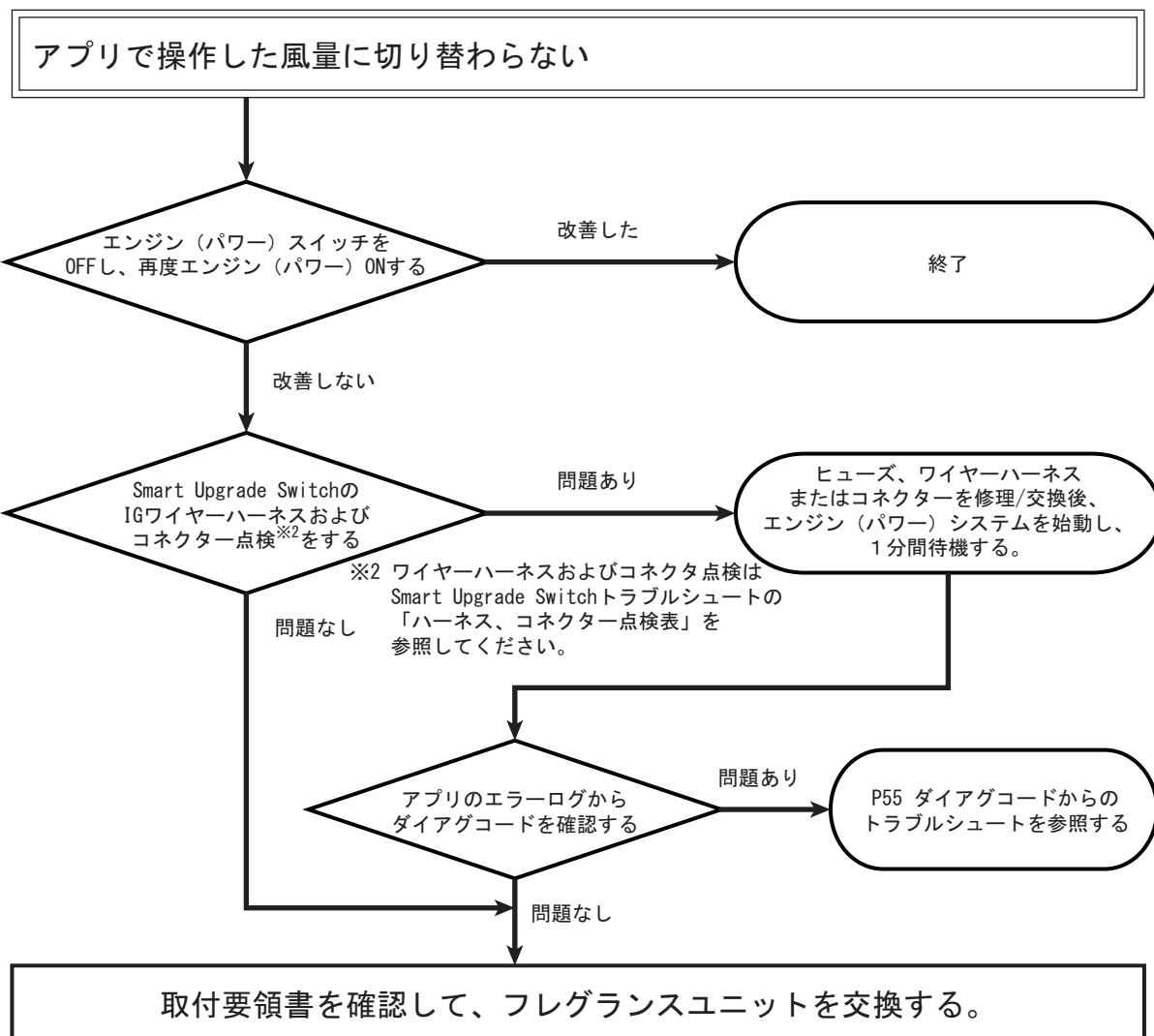
※ 初期化には設定メニュー内にある「本体ソフトウェア初期化」と販売店モード内にある「本体完全初期化」の2種類があります。  
作業中に初期化が必要になる場合、「本体ソフトウェア初期化」をしてください。

### 不具合事象一覧

事象	ページ数
フレグランスカートリッジの名称が「UNKNOWN」と表示される	P. 54
フレグランスカートリッジの名称が「NONE」と表示される	P. 54
アプリで選択した香りに切り替わらない	P. 55
アプリで操作した風量に切り替わらない	P. 56
フレグランス操作画面に『エラー』と表示される	P. 56







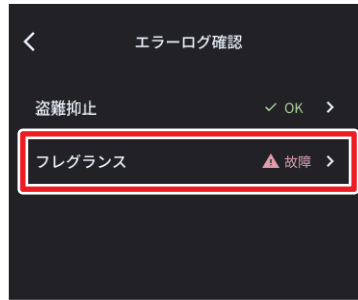
## ・ダイアグコードからのトラブルシュート

### ■ ダイアグコード確認方法

1. 販売店モード画面を表示<sup>※1</sup>させ、『エラーログ確認』をタップする。



2. 『フレグランス』をタップする。



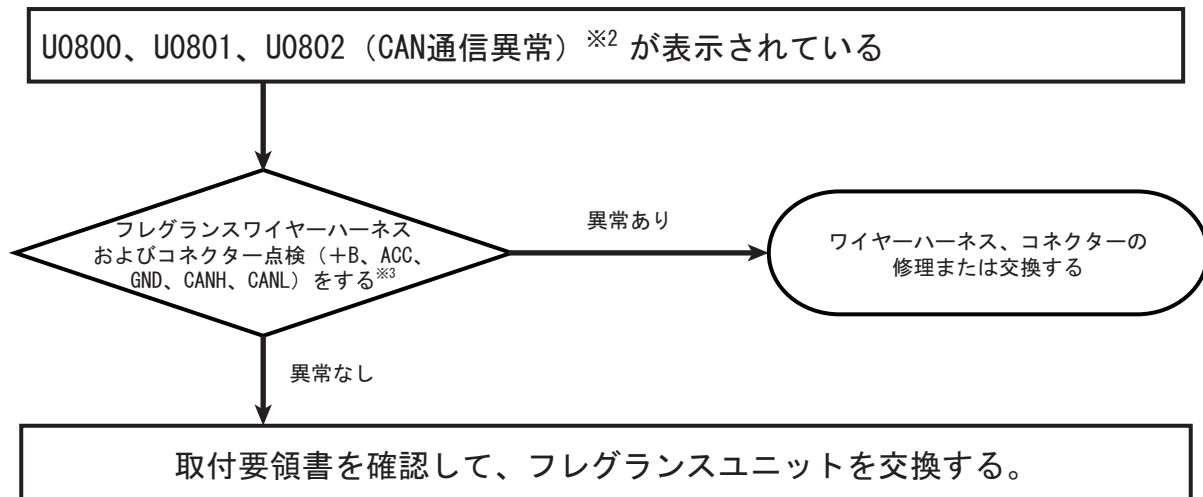
3. ダイアグコードを確認する。



※1 販売店モード画面の表示方法は、別冊の「Smart Upgrade Switch 動作確認」参照。

### 注意

- ・ 修理またはフレグランスユニット交換後、ダイアグコードが表示されないことを確認してください。
- ・ 本項のダイアグコードは本製品専用コードとなり、車両のダイアグコードとは関係がないため、注意してください。



※2 U0800、U0801、U0802以外のダイアグコードが出ている場合、Smart Upgrade Switchトラブルシュートの「ダイアグコード一覧表」を参照してください。

※3 点検方法は、次ページの『ハーネス、コネクタ点検表』を参照してください。

・ハーネス、コネクタ一点検表

コネクタがかん合していることを確認する。(コネクタの接続不良確認)

- ・ 8ピンコネクタをフレグランスユニットから切り離す。
- ・ CANの点検時は、車両に接続されているCAN用2ピンコネクタを切り離す。

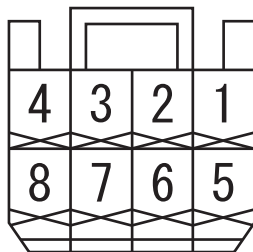
コネクタの点検方法については、P59『コネクタ端子点検』を参照してください。

点検対象	点検端子	点検条件	故障なしとなる基準値
+B	ハーネスの8ピンコネクタ5番 (+B) - ボデーアース	IG OFF	11V~16V
ACC	ハーネスの8ピンコネクタ1番 (ACC) - ボデーアース	IG OFF	0V
	ハーネスの8ピンコネクタ1番 (ACC) - ボデーアース	IG ON	11V~16V
GND <sup>※</sup>	ハーネスの8ピンコネクタ7番 (GND) - ボデーアース	常時	導通あり
CAN <sup>※</sup>	ハーネスの8ピンコネクタ4番 (CANH) - ハーネスの車両側CAN 2ピンコネクタ2番 (CANH)	常時	導通あり
	ハーネスの8ピンコネクタ8番 (CANL) - ハーネスの車両側CAN 2ピンコネクタ1番 (CANL)	常時	導通あり

※ 導通の点検を行う場合、バッテリーのマイナス端子をはずして作業をしてください。

- ・ ヒューズ、分岐コネクタがある場合、ヒューズ切れと分岐コネクタの接続不良を点検する。
- ・ 配線の誤接続がないか点検する。

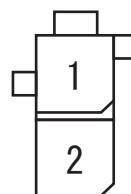
・ハーネスの8ピンコネクタ



ハーネス側から見た図

NO.	端子名称	線色
1	ACC	黄
2	-	-
3	-	-
4	CAN_H	青
5	+B	赤
6	-	-
7	GND	黒
8	CAN_L	白

・ハーネスの2ピンコネクタ



ハーネス側から見た図

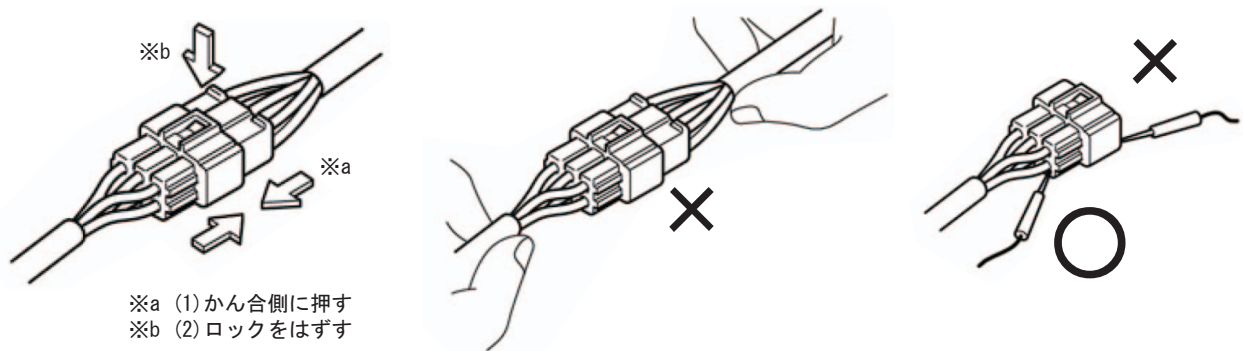
NO.	端子名称	線色
1	CAN_L	白
2	CAN_H	青

## ・コネクタ－端子点検

このコネクタ－端子点検は、ハーネスの不良、車両システム点検の疑いが生じた場合の点検方法を記載しています。

### ■ コネクタ－の取り扱い

1. ロック付きコネクタ－を切り離す場合、コネクタ－をかん合側に押し、ロックのツメを動きやすくしてからロックをはずす。
2. コネクタ－を切り離す場合、ハーネスを持たずにコネクタ－を持っておこなう。
3. コネクタ－の接続前に、端子の変形、損傷および抜けなどが無いことを確認する。
4. ロック付きコネクタ－の接続は、ロック音ができるまで確実に差し込む。
5. コネクタ－を電気的テスターで点検する場合、ミニテストリードを使用してコネクタ－の後ろ側（ハーネス側）からおこなう。



### 注意

差し込んだテスター棒やミニテストリードをむやみに動かして、端子を損傷させないようにしてください。

### ■ コネクタ－の点検要領

1. コネクタ－接続状態で、コネクタ－ハウジングを持って差し込み具合およびロックの効き具合を点検する。  
（かん合状態）
2. コネクタ－切り離し状態で、ワイヤーハーネスを軽く引っ張り点検する。  
（端子抜け、端子かしめ状態、芯線切れ）
3. 発錆、金属片、水などの有無、端子の曲がりの有無を目視点検する。  
（腐食、異物混入、端子変形）
4. オス端子と同じ端子（点検用オス端子）を用意してメス端子に差し込み、端子接触圧、かん合具合および摺動重さを点検する。

